

# 茨木市 次世代育成支援に関するニーズ調査

〔通所支援サービス利用者〕

## 報 告 書

平成26年（2014年）8月

茨 木 市

# 目 次

## 1 調査概要

〔1〕 調査の目的	1
〔2〕 調査の対象	1
〔3〕 調査方法	1
〔4〕 調査時期	1
〔5〕 回収結果	1
〔6〕 報告書における表及び図の見方	1

## 2 調査結果

〔1〕 回答者の属性	3
〔2〕 子育ての状況	6
〔3〕 保護者の就労状況	12
〔4〕 子育て支援サービス等の利用状況	16
調査票	44

# 1 調査概要

## 〔1〕 調査の目的

本調査は、通所支援サービスを利用する児童の保護者を対象に、福祉サービス（子育て支援サービスを含む）の利用状況と今後の利用希望を把握し、今後求められる施策を検討する基礎資料を得ることを目的に実施した

## 〔2〕 調査の対象

通所支援サービスを利用する児童の保護者 260人

## 〔3〕 調査方法

通所支援サービス提供事業者を通じ調査票を配布及び回収（一部、こども政策課で回収）

## 〔4〕 調査期間

平成26年5月21日（水）～平成26年6月6日（金）

## 〔5〕 回収結果

	配布数	有効回答数	有効回答率
通所支援サービス利用者	260	158	60.8%

## 〔6〕 報告書における表及び図の見方

- (1) グラフや数表では、各質問の対象を基数とした百分率（％）で回答比率を示している。百分率（％）は、原則として小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%を前後する場合がある。
- (2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。

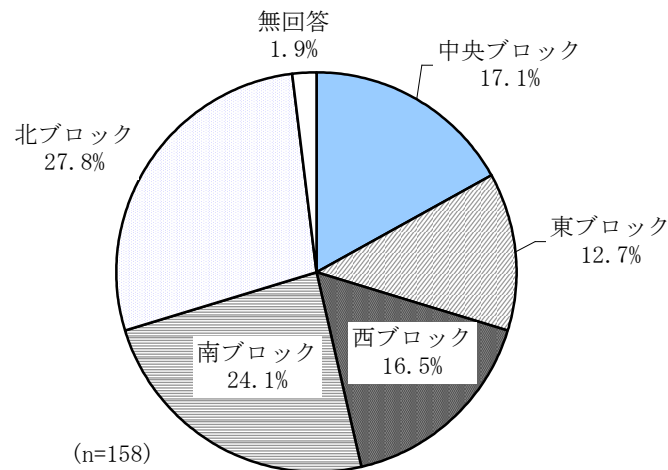


## 2 調査結果

### 〔1〕回答者の属性

#### (1) 居住地域

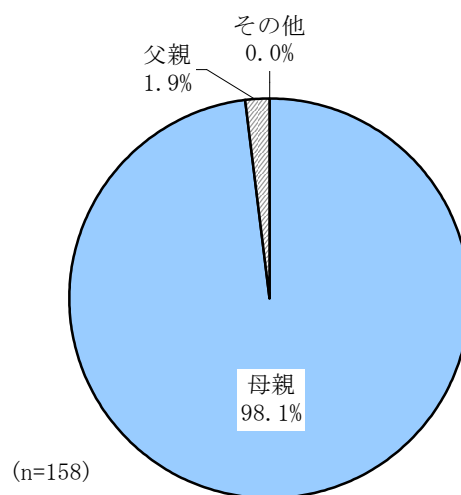
【図1-1 居住地域】



居住小学校区をブロック別にわけると、「北ブロック」が27.8%で最も多く、次いで「南ブロック」が24.1%、「中央ブロック」が17.1%となっている。(図1-1)

#### (2) アンケートの回答者

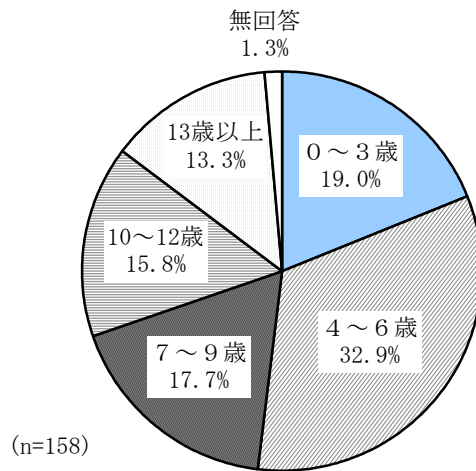
【図1-2 アンケートの回答者】



アンケートの回答者は、「母親」が98.1%、「父親」が1.9%となっている。(図1-2)

### (3) 子どもの年齢

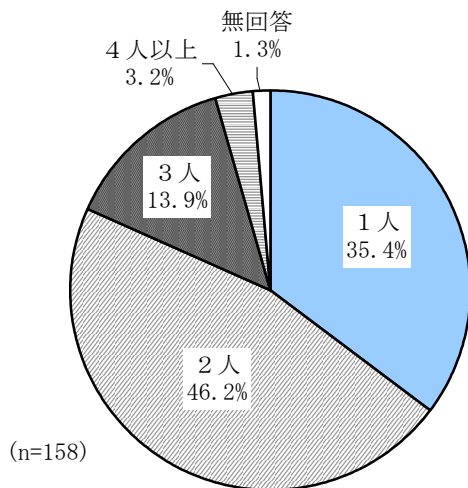
【図1-3 子どもの年齢】



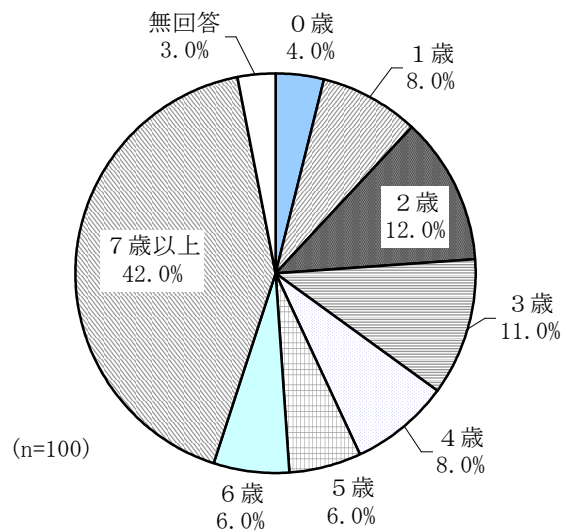
子どもの年齢は、「4～6歳」が32.9%で最も多く、次いで「0～3歳」が19.0%、「7～9歳」が17.7%となっている。(図1-3)

### (4) 子どもの人数

【図1-4-1 子どもの人数】



【図1-4-2 末子の年齢】

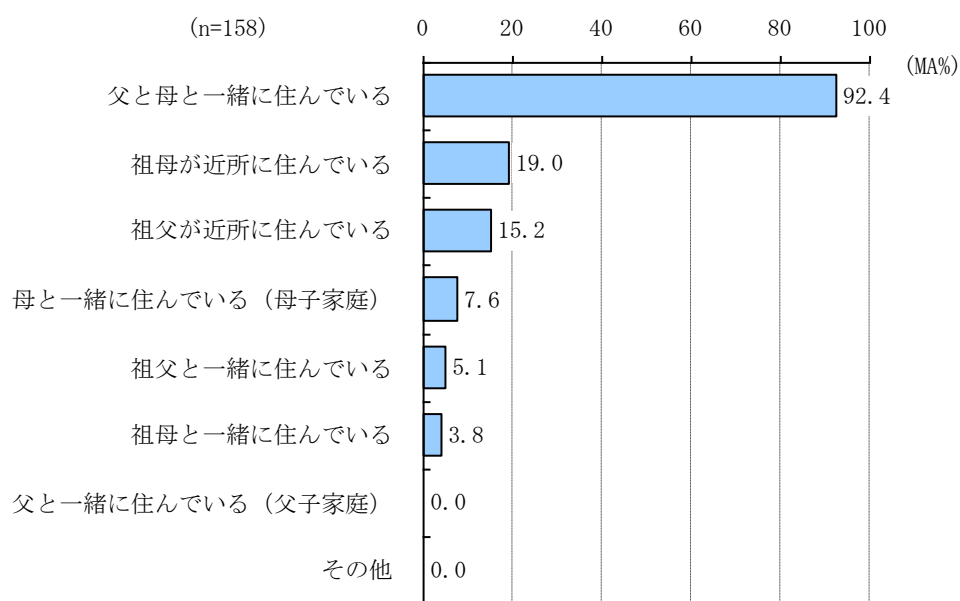


子どもの人数は、「2人」が46.2%で最も多く、次いで「1人」が35.4%、「3人」が13.9%であり、平均人数は1.9人となっている。(図1-4-1)

2人以上いる場合の末子の年齢は、「7歳以上」が42.0%で最も多く、次いで「2歳」が12.0%、「3歳」が11.0%となっている。(図1-4-2)

## (5) 同居家族

【図1-5 同居家族】



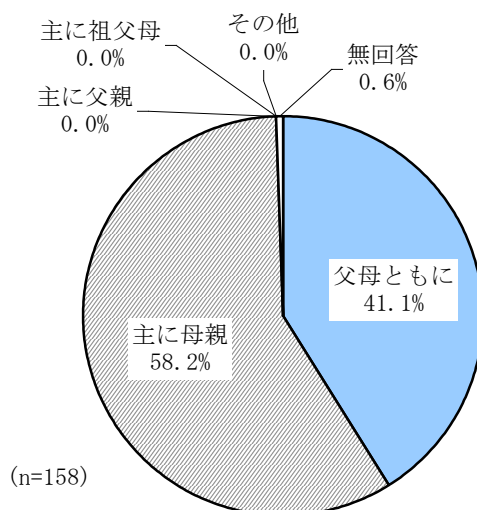
同居家族については、「父と母と一緒に住んでいる」が92.4%で最も多く、次いで「祖母が近所に住んでいる」が19.0%、「祖父が近所に住んでいる」が15.2%となっている。  
(図1-5)

## 〔2〕子育ての状況

### (1) 子育てや教育を主に行っている人

問6 対象のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢はこの調査対象のお子さんから見た関係です。

【図2-1 子育てや教育を主に行っている人】

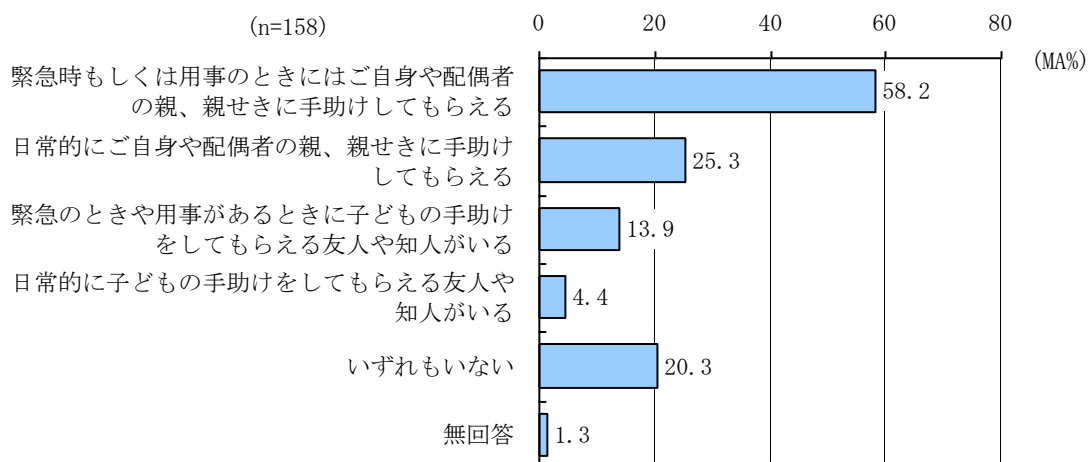


子育てや教育を主に行っている人については、「主に母親」が58.2%、次いで「父母ともに」が41.1%となっている。(図2-1)

### (2) 子どものことで手助けしてもらえる人

問7 日頃、対象のお子さんのことで手助けしてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【図2-2 子どものことで手助けしてもらえる人】



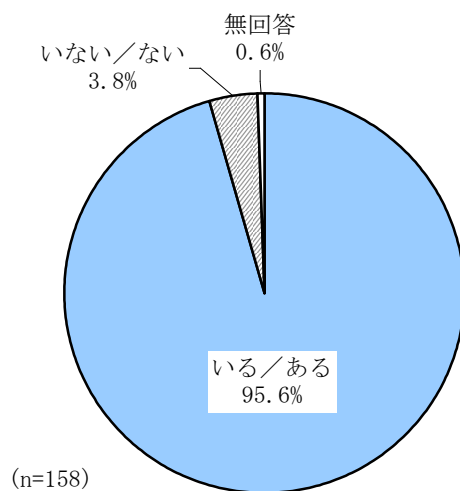
子どものことで手助けしてもらえる人については、「緊急時もしくは用事ときにはご自身や配偶者の親、親せきに手助けしてもらえる」が58.2%で最も多く、次いで「日常にご自身や配偶者の親、親せきに手助けしてもらえる」が25.3%となっている。(図2-2)



### (3) 子育てや教育についての相談相手の有無

問8 対象のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【図2-3 子育てや教育についての相談相手の有無】



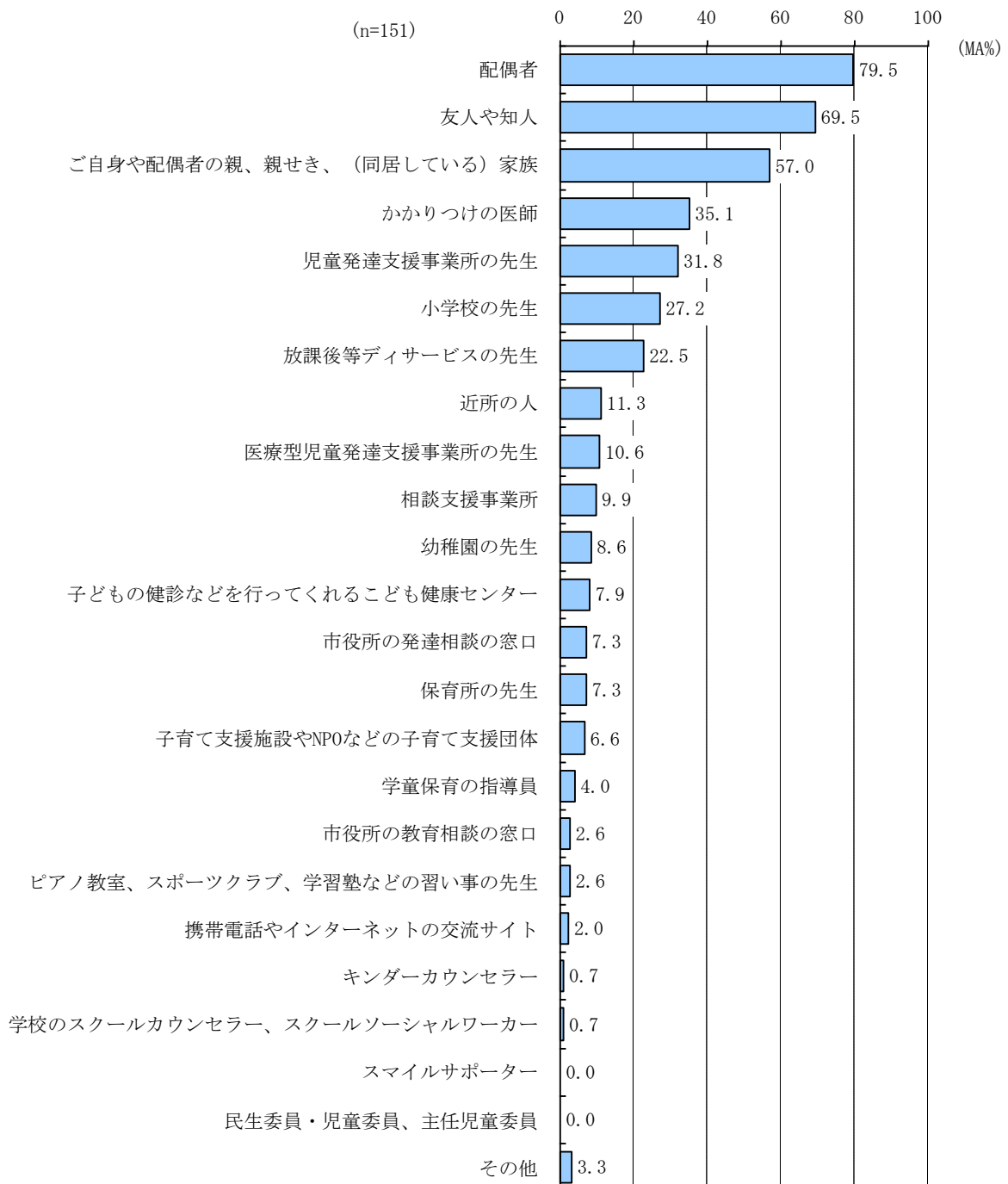
子育てや教育についての相談相手の有無については、「いる/ある」が95.6%、「いない/ない」が3.8%となっている。(図2-3)

#### (4) 子育てや教育についての相談相手

問8-1 問8で「1. いる/ある」を選ばれて方におうかがいします。

気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【図2-4 子育てや教育についての相談相手】



子育てや教育について、気軽に相談できる人がいる（ある）と回答した人に、その相談相手や場所についてたずねると、「配偶者」が79.5%で最も多く、次いで「友人や知人」が69.5%、「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族」が57.0%となっている。(図2-4)

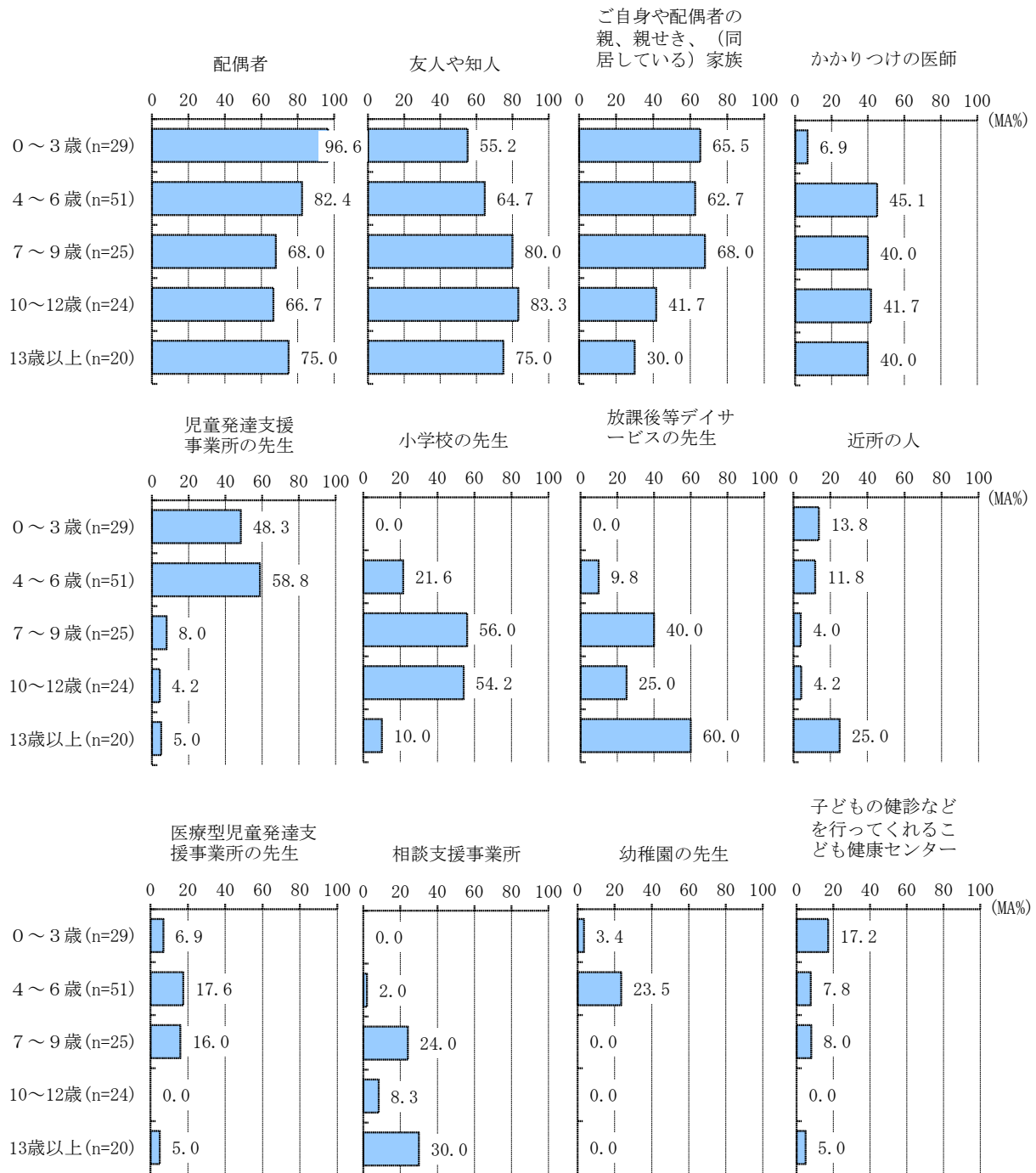
就学前児童・小学生と比較すると、各児童の保護者も『親族等』がそれぞれ5割以上と高くなっている。しかし、『教育・保育』については、就学前児童の保護者は「幼稚園の先生」(15.2%)と「保育所の先生」(23.5%)、小学生の保護者は「小学校の先生」(35.1%)が比較的が高くなっている。それに対し、療育機関利用の保護者は『療育に関わる事業者・専門機関』の割合が高くなっており、なかでも「かかりつけの医師」は35.1%、「児童発達支援事業所の先生」は31.8%、「放課後等デイサービスの先生」は22.5%となっている。(表2-4-1)

【表2-4-1 調査種別 子育てや教育についての相談相手】

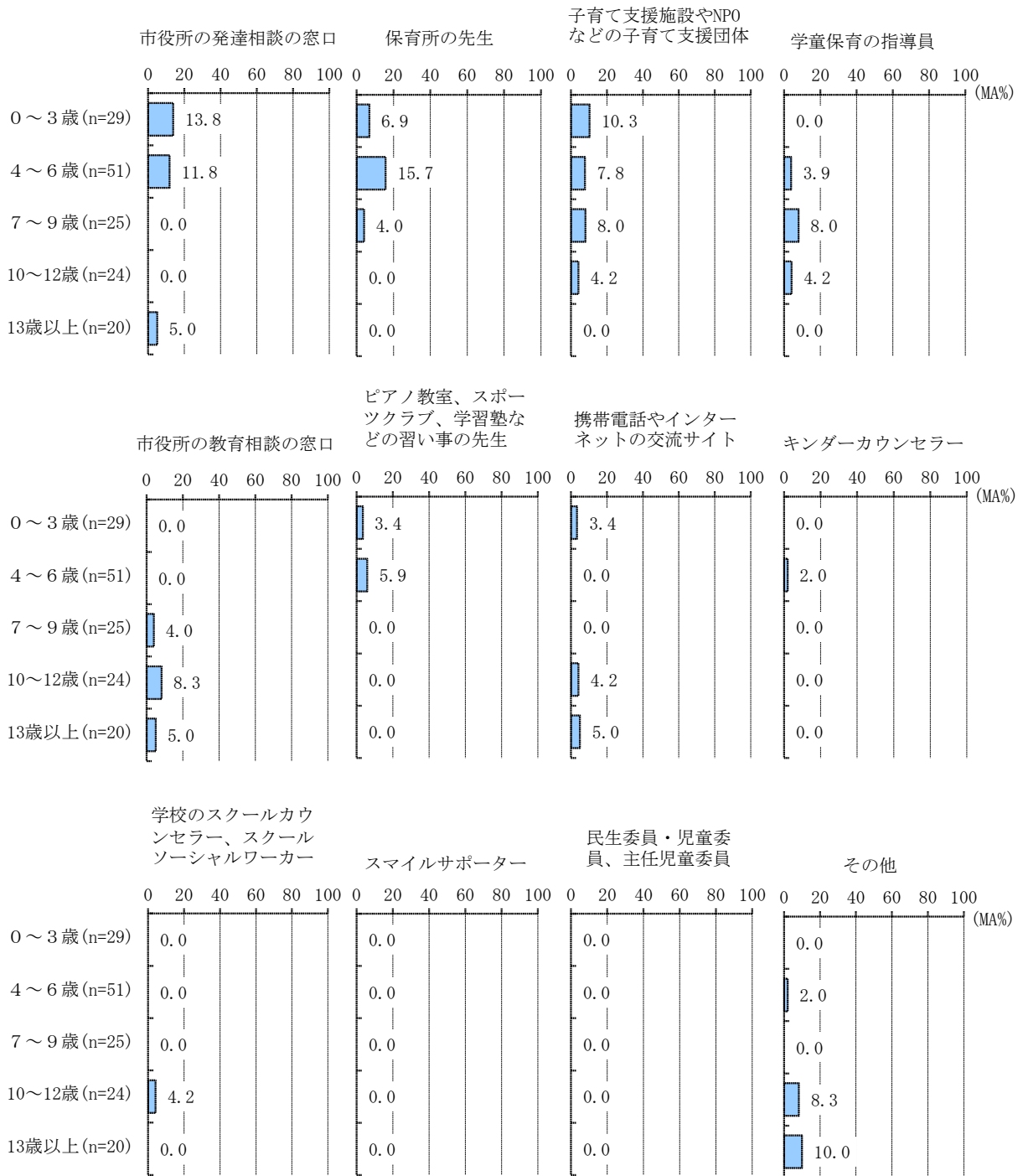
		(%)		
		療育機関利用 (n=151)	就学前児童 (n=962)	小学生 (n=834)
親族等	配偶者	79.5	87.9	83.7
	ご自身や配偶者の親、親せき、 (同居している) 家族	57.0	73.7	72.1
	友人や知人	69.5	70.7	76.9
教育・保育	幼稚園の先生	8.6	15.2	-
	保育所の先生	7.3	23.5	-
	小学校の先生	27.2	-	35.1
療育に関わる事業者・専門機関	児童発達支援事業所の先生	31.8	-	-
	医療型児童発達支援事業所の先生	10.6	-	-
	放課後等デイサービスの先生	22.5	-	-
	相談支援事業所	9.9	-	-
	かかりつけの医師	35.1	-	-

年齢別でみると、0～6歳は「配偶者」、7歳以上では「友人や知人」が最も多くなっている。また、0～6歳は「児童発達支援事業所の先生」が5割前後、7～12歳は「小学校の先生」が5割台、13歳以上では「放課後等デイサービスの先生」が6割で、それぞれ割合が高くなっている。(図2-4-2)

【図2-4-2 年齢別 子育てや教育についての相談相手①】



【図2-4-2 年齢別 子育てや教育についての相談相手②】

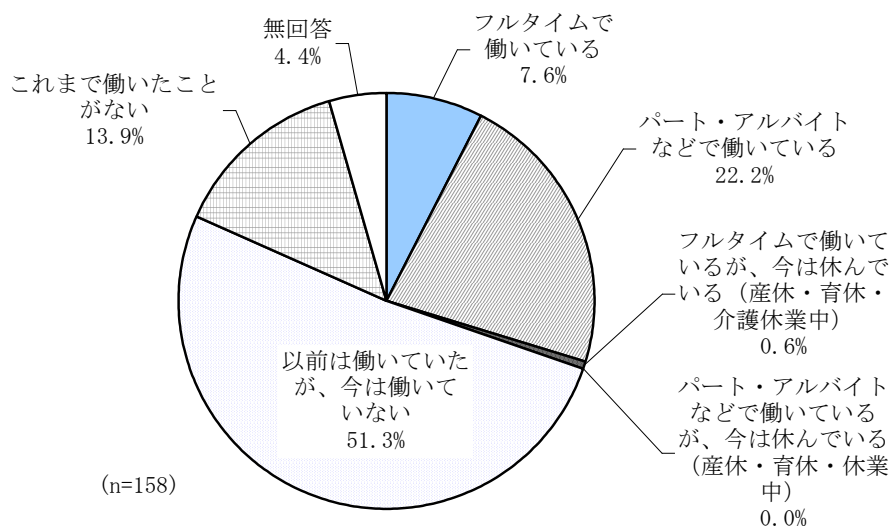


### 〔3〕 保護者の就労状況

#### (1) 母親の就労状況

問9 対象のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

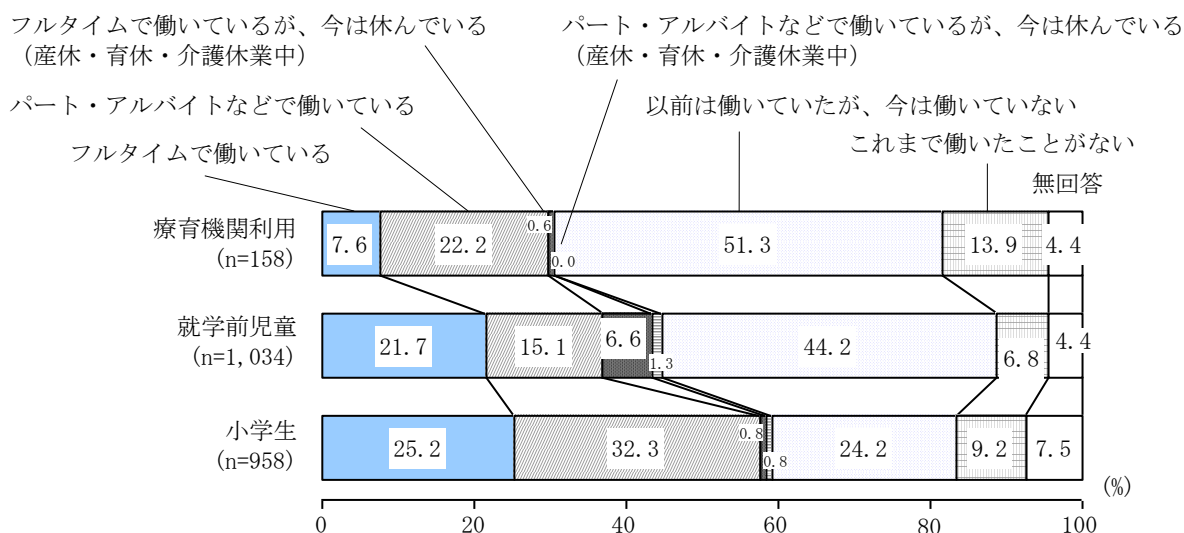
【図3-1 母親の就労状況】



母親の就労状況については、「以前は働いていたが、今は働いていない」が51.3%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」が22.2%、「これまで働いたことがない」が13.9%となっている。(図3-1)

就学前児童・小学生と比較すると、療育機関利用の保護者は「フルタイムで働く」が約3分の1と低く、フルタイムやパート・アルバイトなどで働いている割合は、小学生の保護者の約半数となっている。一方、「以前は働いていたが、今は働いていない」では小学生の保護者の2倍以上を占めている。(図3-1-1)

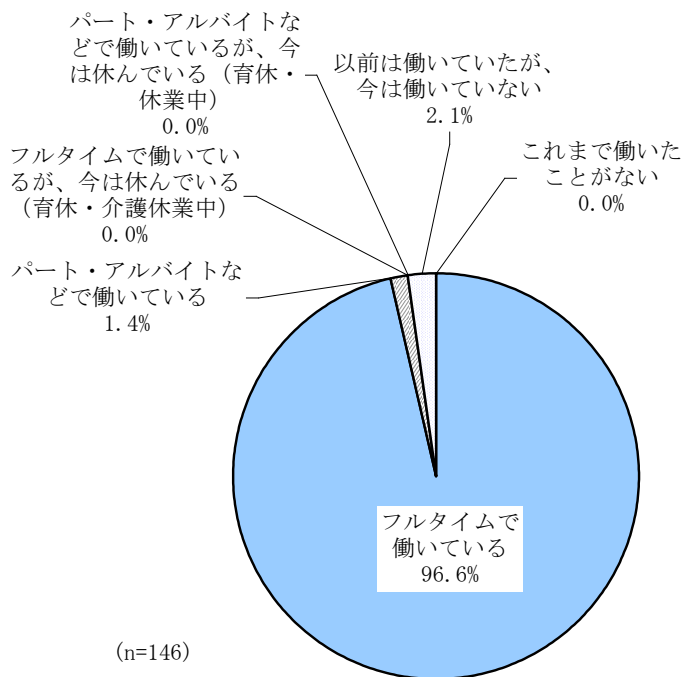
【図3-1-1 調査種別 母親の就労状況】



## (2) 父親の就労状況

問10 対象のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。  
自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【図3-2 父親の就労状況】



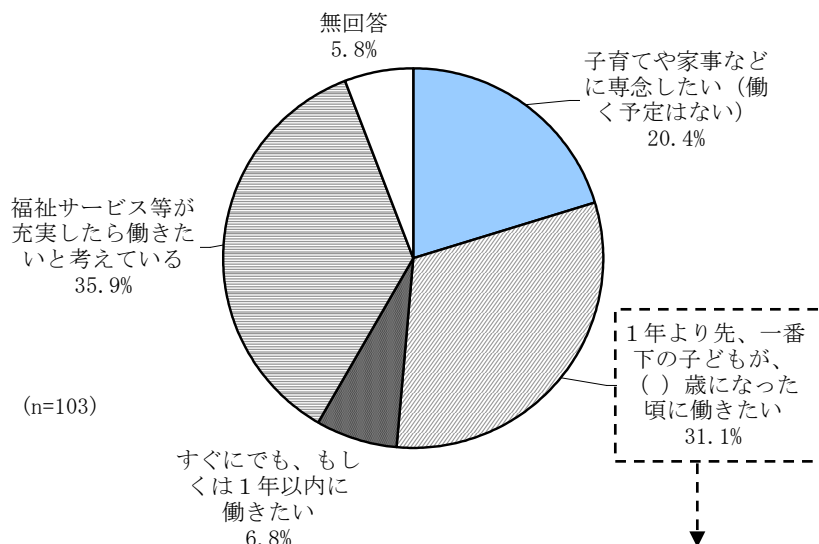
父親の就労状況については、「フルタイムで働いている」が96.6%で、ほとんどを占めている。(図3-2)

### (3) 保護者の就労意向

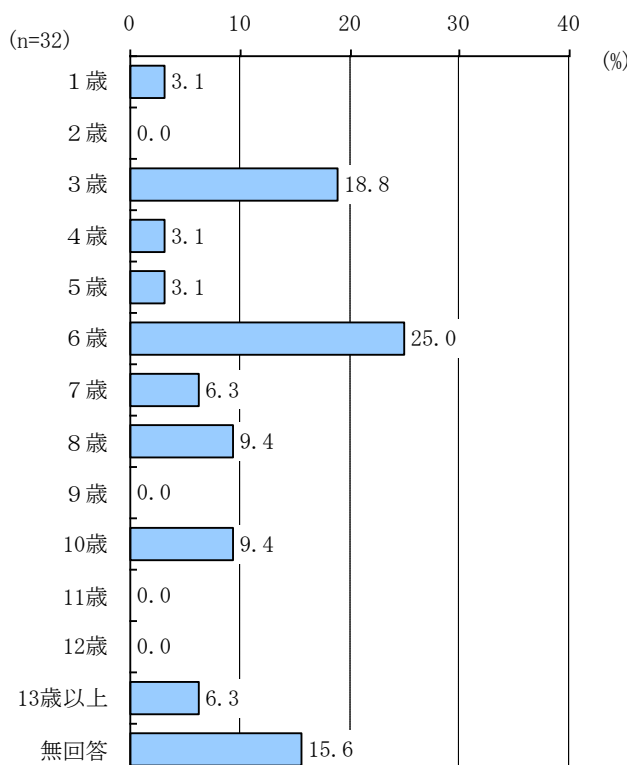
問11 問9または問10で「5.」または「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方におうかがいします。

あてはまる番号に1つだけ○をつけ、( )内に具体的な数字を入れてください。

【図3-3-1 母親の就労状況】



【図3-3-2 一番下の子どもが何歳になったら働きたいか】

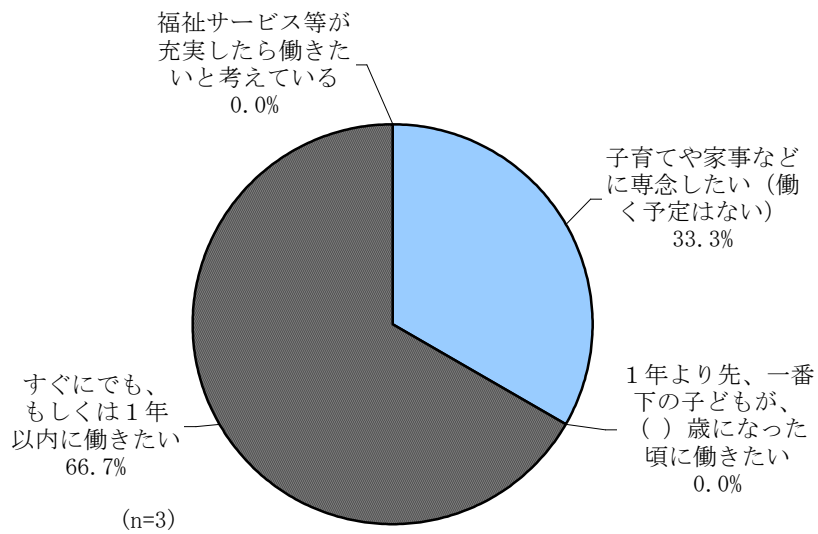


母親が仕事を持っていないと回答した人に、今後の就労意向についてたずねた。

「福祉サービス等が充実したら働きたいと考えている」が35.9%で最も多い。次いで「1年より先、一番下の子どもが、( )歳になった頃に働きたい」が31.1%であり、その年齢は「6歳」が25.0%で最も多く、次いで「3歳」が18.8%となっている。(図3-3-1、3-3-2)



【図3-3-3 父親の就労状況】



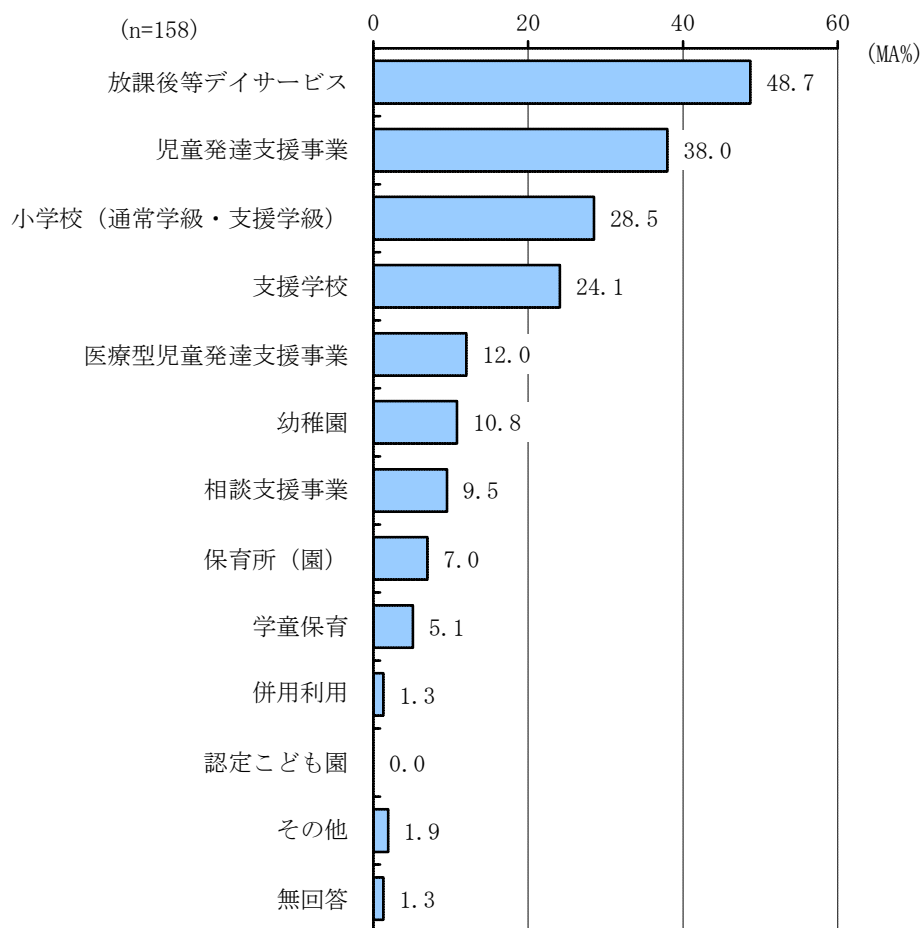
父親の就労状況については、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が66.7%（2件）で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が33.3%（1件）となっている。（図3-3-3）

#### 〔4〕子育て支援サービス等の利用状況

##### （1）子育て支援サービスの利用状況と利用意向

問12 下記のサービスで現在利用しているものや、今後、利用したいと思うものはありますか。あてはまるサービスごとに（1）・（2）に○をつけてください。

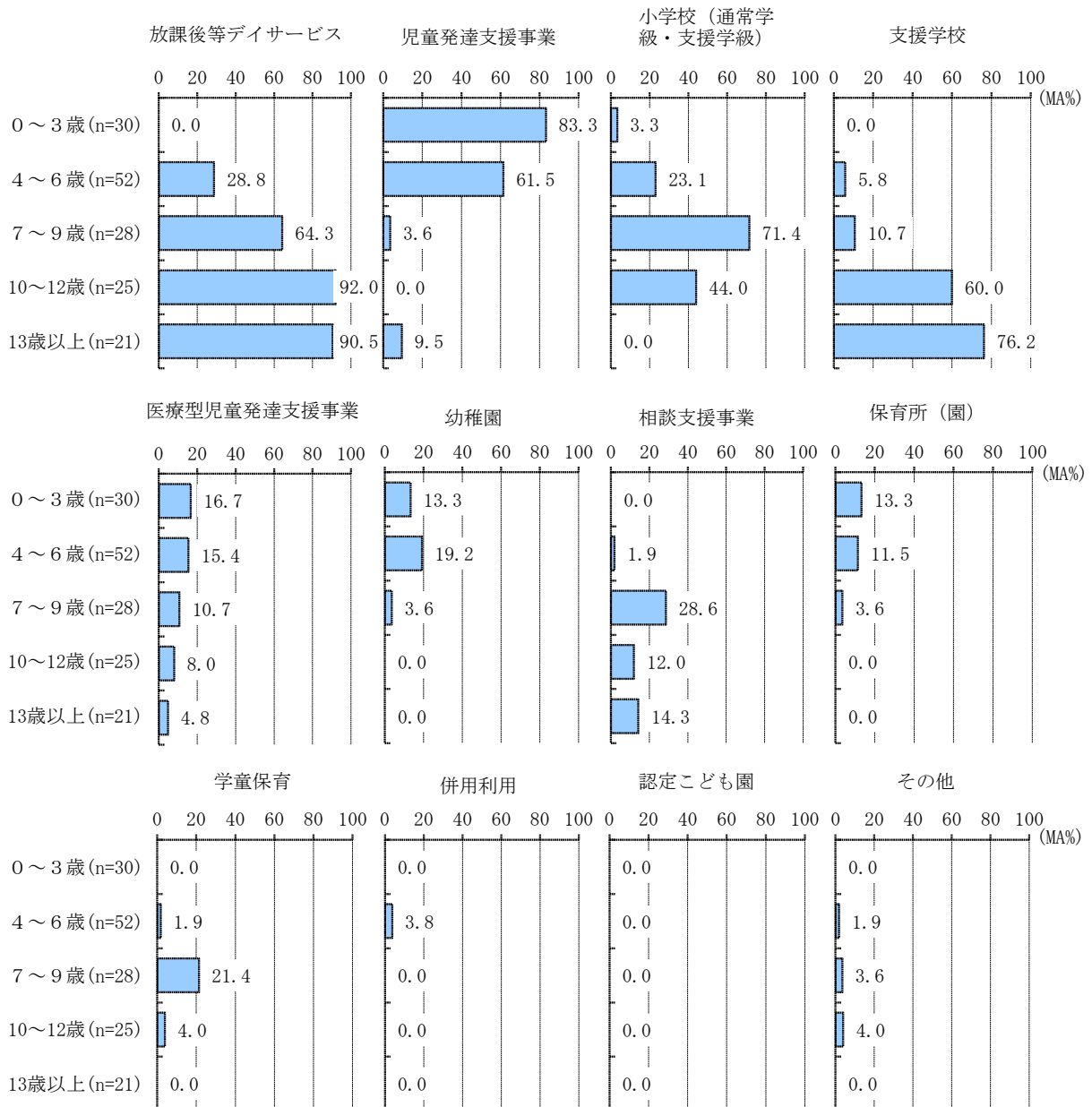
【図4-1-1 子育て支援サービスの利用状況】



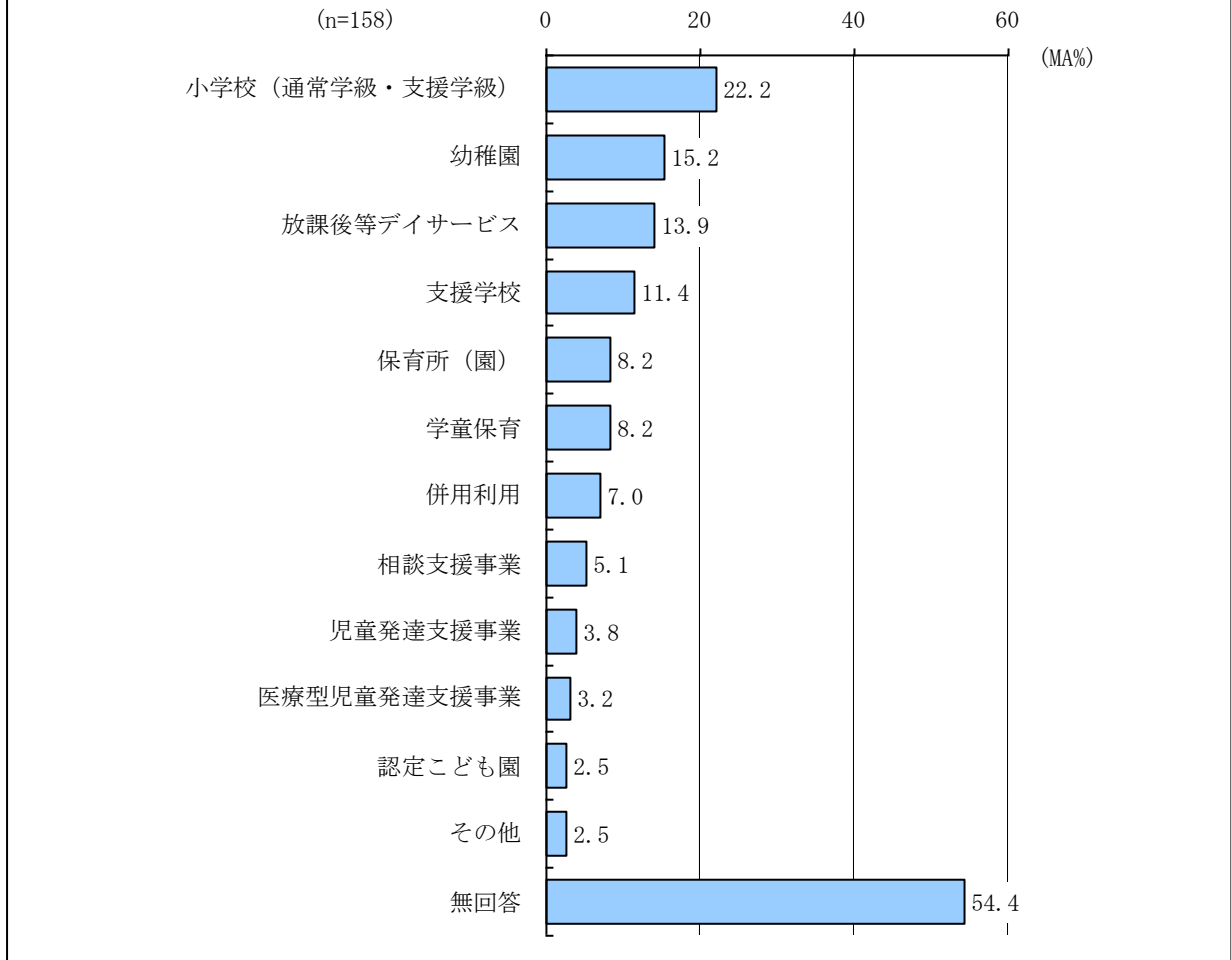
子育て支援サービスの利用状況については、「放課後等デイサービス」が48.7%で最も多く、次いで「児童発達支援事業」が38.0%、「小学校（通常学級・支援学級）」が28.5%となっている。（図4-1-1）

年齢別でみると、0～6歳は「児童発達支援事業」が6割以上、7～9歳は「小学校（通常学級・支援学級）」が7割台、10歳以上では「放課後等デイサービス」が9割台で、それぞれ最も多くなっている。また、「支援学校」は年齢が上がるほど高くなっており、10歳以上では6割以上となっている。（図4-1-1-1）

【図4-1-1-1 年齢別 子育て支援サービスの利用状況】



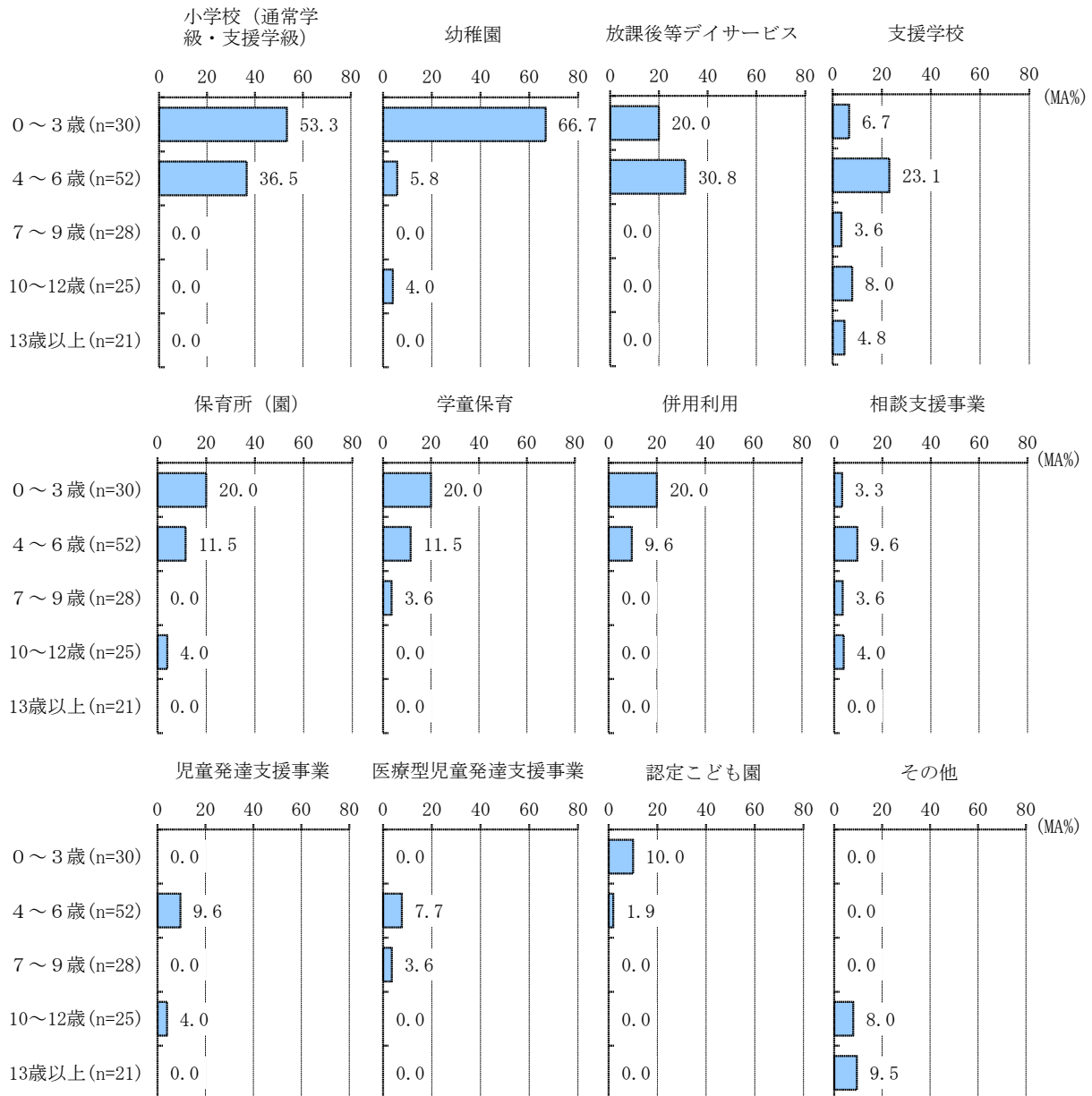
【図4-1-2 子育て支援サービスの利用意向】



子育て支援サービスの利用意向については、「小学校（通常学級・支援学級）」が22.2%で最も多く、次いで「幼稚園」が15.2%、「放課後等デイサービス」が13.9%となっている。（図4-1-2）

年齢別でみると、0～3歳は「幼稚園」が66.7%で最も多く、次いで「小学校（通常学級・支援学級）」が53.3%となっている。4～6歳では「小学校（通常学級・支援学級）」が36.5%で最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が30.8%、「支援学校」が23.1%となっている。7歳以上の利用意向は、いずれのサービスも低くなっている。（図4-1-2-1）

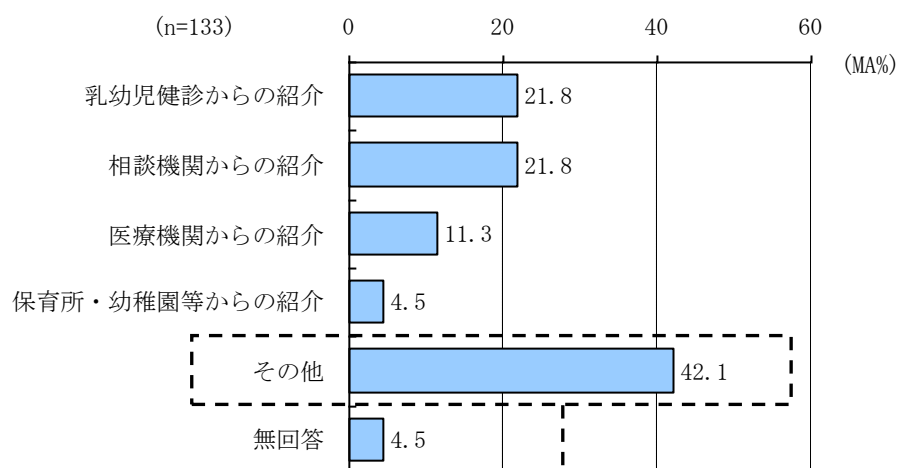
【図4-1-2-1 年齢別 子育て支援サービスの利用意向】



## (2) 通所支援サービスを紹介された機関

問13 問12「(1) 現在利用している」に○をつけられた通所支援サービス(⑦、⑧、⑨)は、どの機関より紹介されて利用することになりましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【図4-2 通所支援サービスを紹介された機関】



その他	件数
友人・知人	30
市役所	6
自分で	5
保健師	4
すくすく教室	3
保健所	2
口コミ	1
こども健康センター	1
小学校	1
福祉事業所	1
心理カウンセラー	1
延べ件数	55

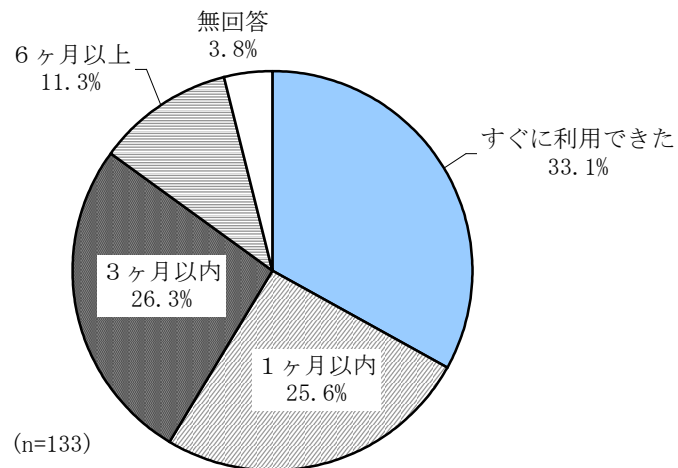
利用している子育て支援サービスについて、通所支援サービス(児童発達支援事業、医療型児童発達支援事業、放課後等デイサービス)を回答した人に、その通所支援サービスを紹介された機関についてたずねると、「乳幼児健診からの紹介」と「相談機関からの相談」がともに21.8%で最も多くなっている。(図4-2)

また、「その他」には、友人・知人からの紹介(30件)、市役所から(6件)、自分で(5件)などがあげられている。

### (3) 通所支援サービスの利用開始までの期間

問14 現在の利用中の通所支援サービスを利用したいと思ってから利用開始までの期間についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【図4-3 通所支援サービスの利用開始までの期間】

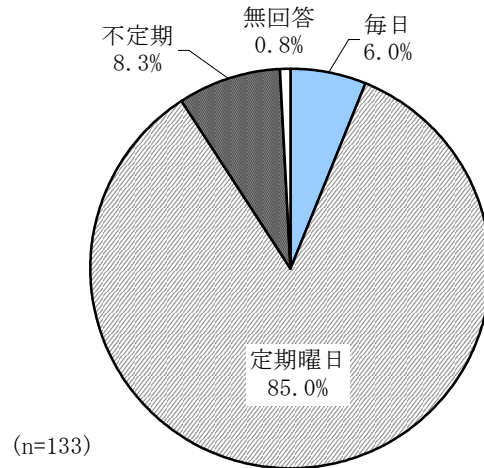


現在利用中の通所支援サービスの利用開始までの期間は、「すぐに利用できた」が33.1%で最も多く、次いで「3ヶ月以内」が26.3%、「1ヶ月以内」が25.6%となっている。(図4-3)

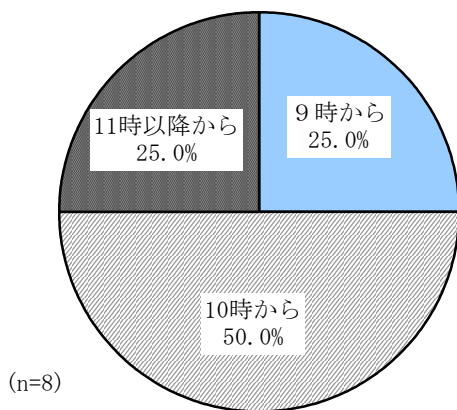
(4) 通所支援サービスの利用状況

問15 現在の利用中の通所支援サービスの利用日、利用時間についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。(複数の事業所を利用の場合は、そのすべてをあわせてご記入ください。)

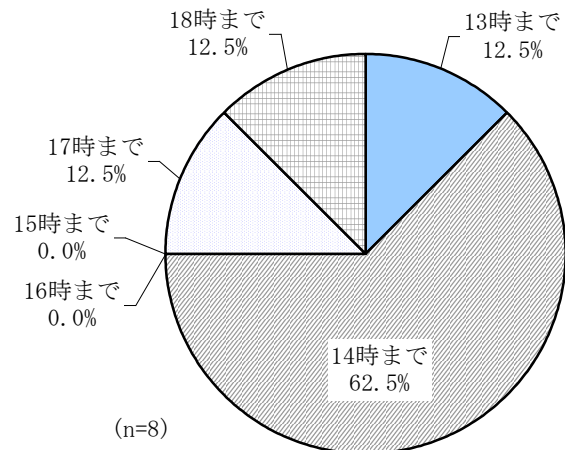
【図4-4-1 通所支援サービスの利用頻度】



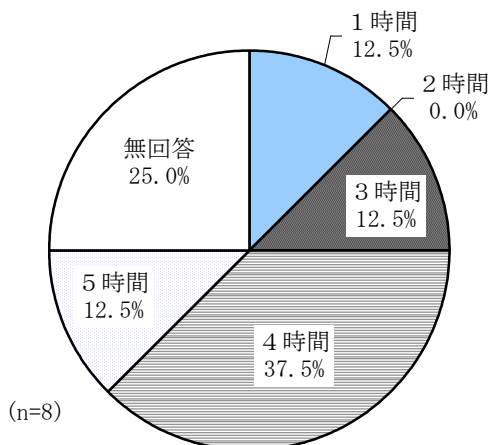
【図4-4-2 毎日の利用開始時間】



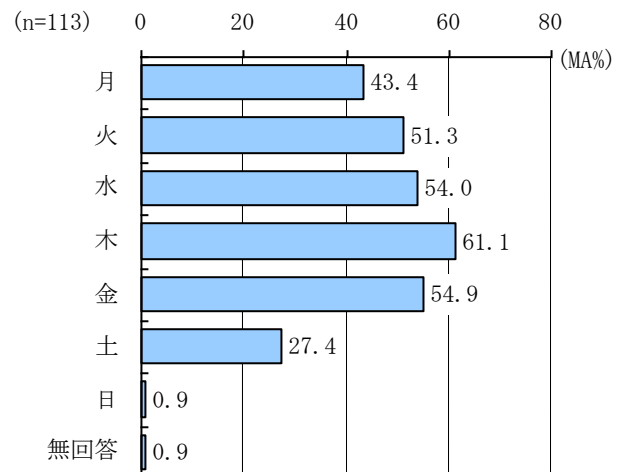
【図4-4-3 毎日の利用終了時間】



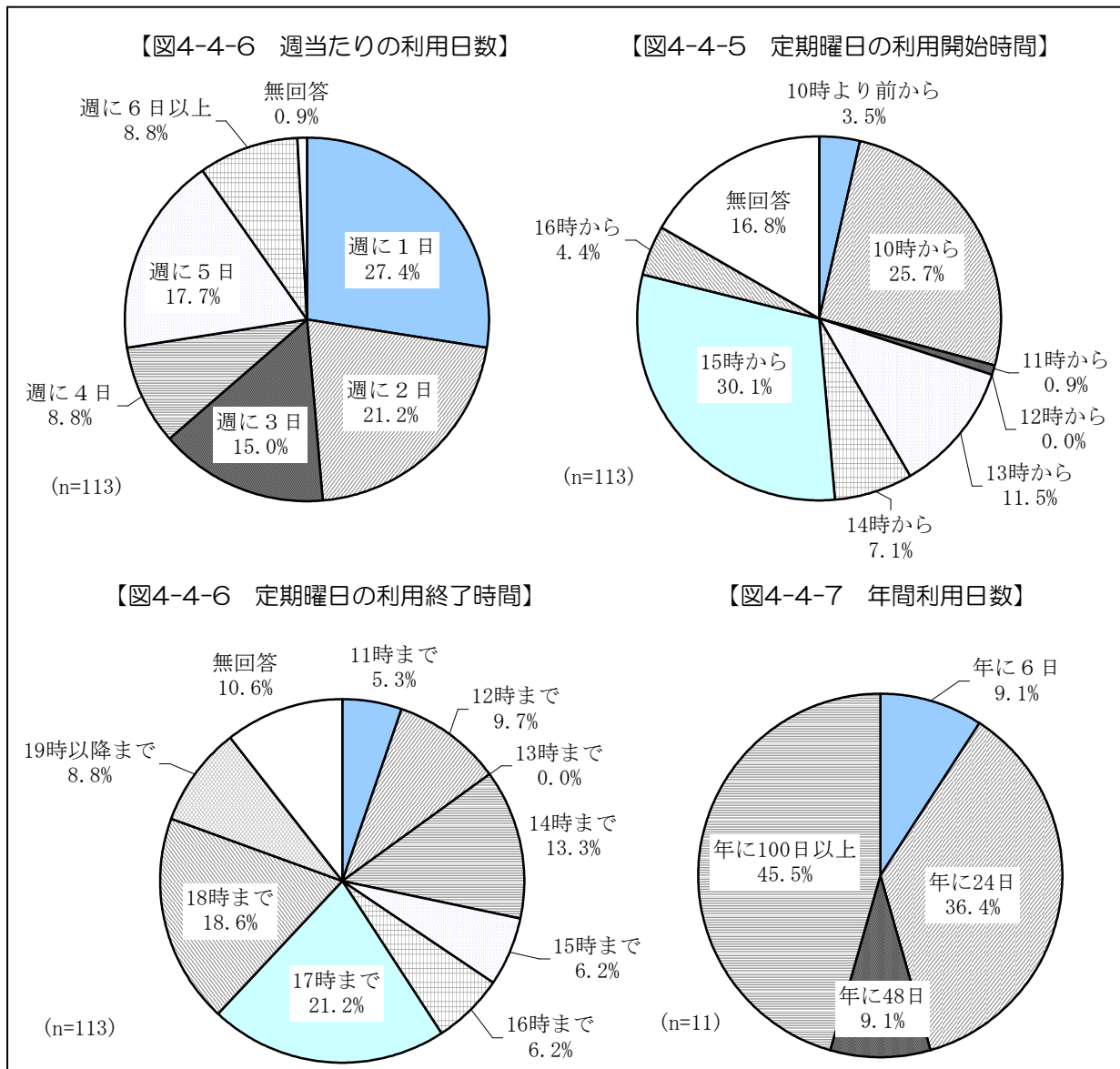
【図4-4-4 毎日の利用時間】



【図4-4-5 利用している曜日】







現在、利用している通所支援サービスについてたずねた。

利用頻度は、「定期曜日」が85.0%で最も多く、次いで「不定期」が8.3%、「毎日」が6.0%となっている。(図4-4-1)

毎日と回答した人(8件)の利用開始時間は、「10時から」が50.0%(4件)で最も多い。(図4-4-2)

毎日と回答した人の利用終了時間は、「14時まで」が62.5%(5件)で最も多い。(図4-4-3)

毎日と回答した人の利用時間は、「4時間」が37.5%(3件)で最も多い。(図4-4-4)

利用している曜日を回答した人は、「木」曜日が61.1%で最も多く、次いで「金」曜日が54.9%、「水」曜日が54.0%となっている。(図4-4-5)

週当たりの利用日数は、「週に1日」が27.4%で最も多く、次いで「週に2日」が21.2%となっている。(図4-4-6)

定期曜日の利用開始時間は、「15時から」が30.1%で最も多く、次いで「10時から」が25.7%となっている。(図4-4-5)

定期曜日の利用終了時間は、「17時まで」が21.2%で最も多く、次いで「18時まで」

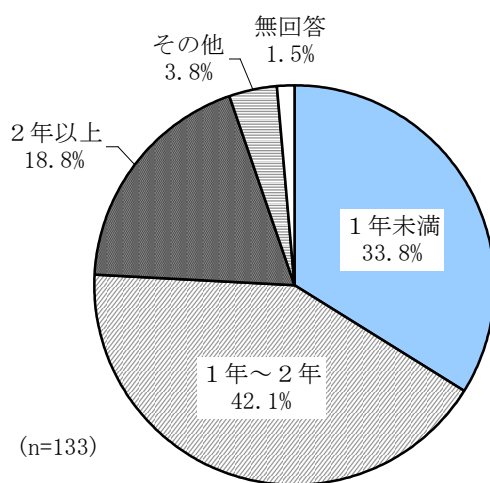
が18.6%、「14時まで」が13.3%となっている。(図4-4-6)

不定期と回答した人(11件)の利用日数は、「年に100日以上」が45.5%(5件)で最も多く、次いで「年に24日」が36.4%(4件)となっている。(図4-4-7)

### (5) 現在までの通所支援サービスの利用期間

問16 現在までの通所支援サービスの利用期間についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【図4-5 現在までの通所支援サービスの利用期間】

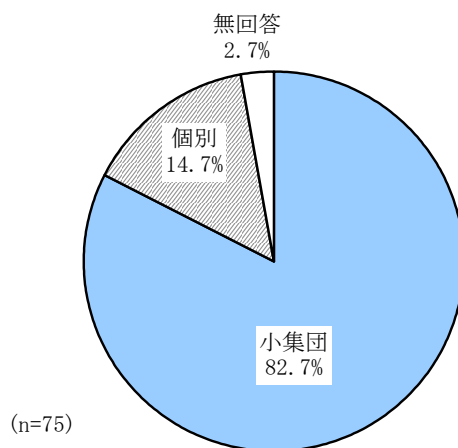


現在までの通所支援サービスの利用期間については、「1年～2年」が42.1%で最も多く、次いで「1年未満」が33.8%、「2年以上」が18.8%となっている。(図4-5)

### (6) 受けている療育の事業形態

問17 問12で「⑦、⑧」を受けていると選ばれた方におうかがいします。どのような療育を受けていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【図4-6 受けている療育の事業形態】

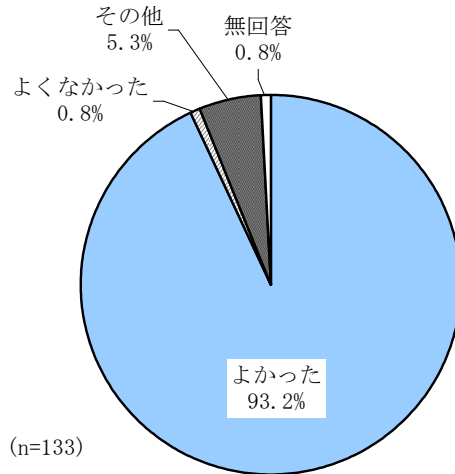


現在、児童発達支援事業、医療型児童発達支援事業を利用していると回答した人に、受けている療育の事業形態についてたずねると、「小集団」が82.7%に対し、「個別」が14.7%となっている。(図4-6)

(7) 通所支援サービスや相談支援事業を利用した感想

問18 問12で「(1) 現在利用している」に○をつけられたサービス(7、8、9、10)を利用して、どのように思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて理由もお書きください。

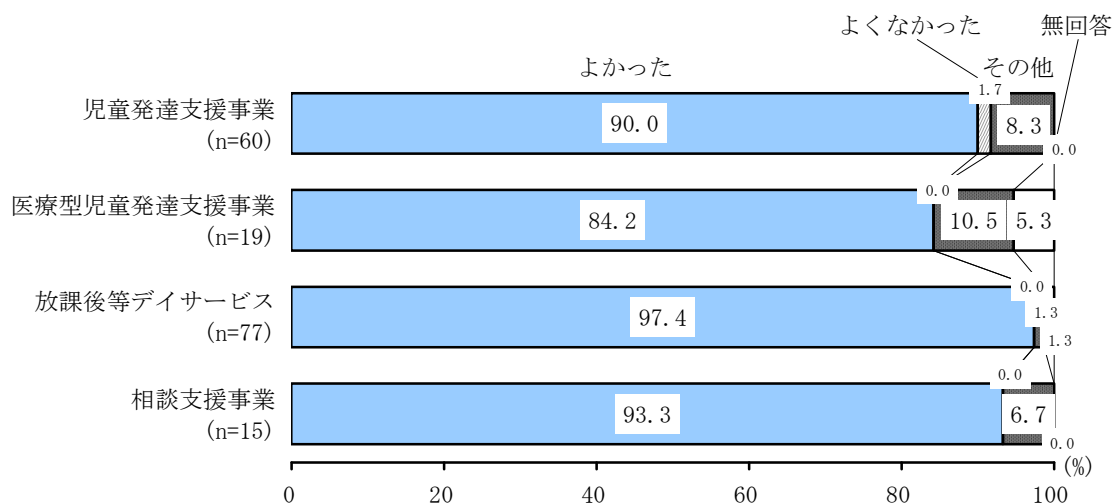
【図4-7 通所支援サービスや相談支援事業を利用した感想】



現在、児童発達支援事業、医療型児童発達支援事業、放課後等デイサービス、相談支援事業を利用していると回答した人に、利用した感想についてたずねると、「よかった」が93.2%で大半を占めている。(図4-7)

現在利用しているサービス別でみると、いずれのサービスも「よかった」が9割前後を占めており、なかでも放課後等デイサービスは97.4%と高くなっている。(図4-7-1)

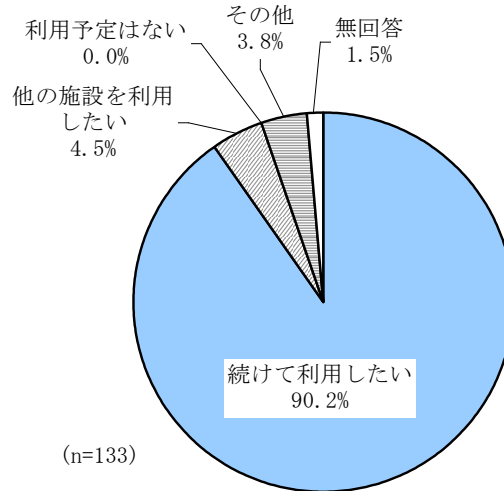
【図4-7-1 現在利用しているサービス別 通所支援サービスや相談支援事業を利用した感想】



(8) 通所支援サービスの今後の利用意向

問19 問12で「(1) 現在利用している」に○をつけられた通所支援サービス(⑦、⑧、⑨)の今後の利用についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけて理由もお書きください。

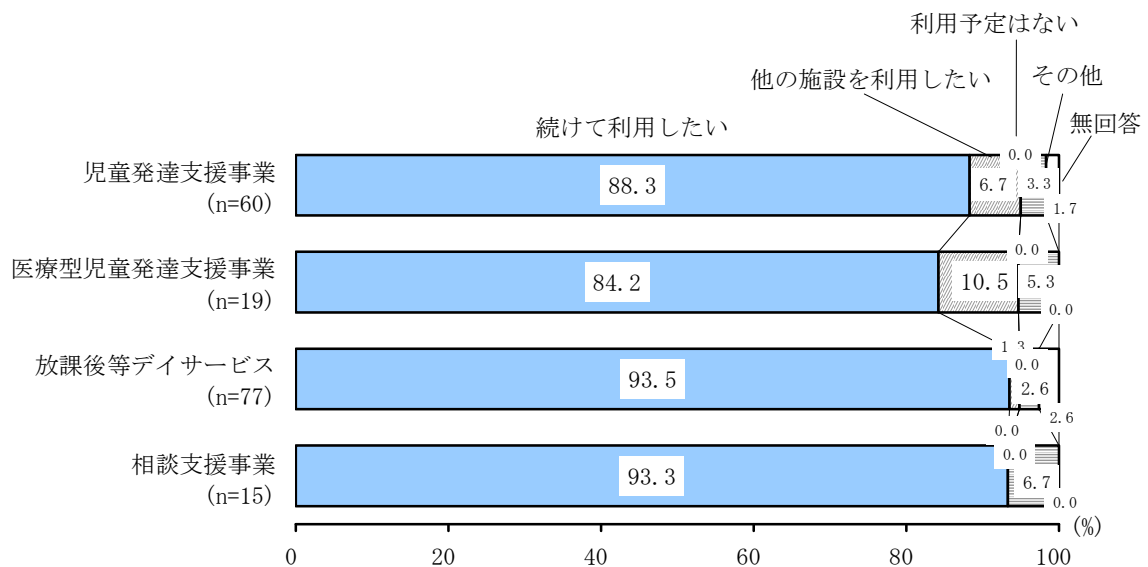
【図4-8 通所支援サービスの今後の利用意向】



現在、児童発達支援事業、医療型児童発達支援事業、放課後等デイサービスを利用して回答した人に、今後の利用意向についてたずねると、「続けて利用したい」が90.2%を占めている。(図4-8)

現在利用しているサービス別でみると、いずれのサービスも「続けて利用したい」が9割前後を占めており、なかでも放課後等デイサービスと相談支援事業は93%台と高くなっている。(図4-8-1)

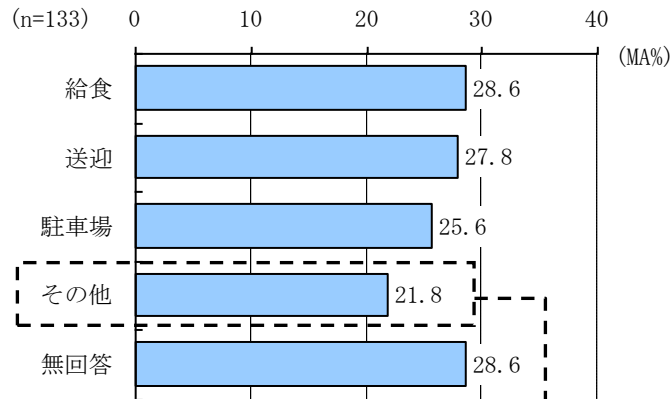
【図4-8-1 現在利用しているサービス別 通所支援サービスの今後の利用意向】



(9) 通所支援サービスに希望するサービス

問20 問12で「(1) 現在利用している」に○をつけられた通所支援サービス(⑦、⑧、⑨)にあつたらよいと思われるサービスについておうかがいします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【図4-9 通所支援サービスに希望するサービス】



その他	件数
延長保育・時間延長	5
現状維持・特になし・気に入っている	5
長期休暇中の預かり	3
お風呂	2
子どものきょうだいも預かってくれる	1
おやつやイベントの開催	1
公園やプールなどの外出	1
休日利用	1
P TやO Tの配置	1
利用料の振込をA T M対応に	1
卒業後も継続して利用できる	1
お弁当を食べたりする場所	1
中高生のためのサービス	1
駐車場または送迎	1
歯みがき	1
広い園庭	1
夕食サービス	1
都合に合わせて送ってくれる	1
連絡帳がない	1
延べ件数	30

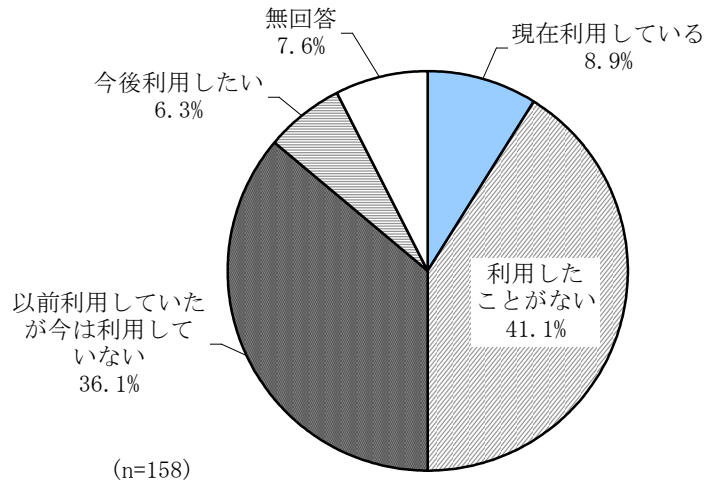
現在、児童発達支援事業、医療型児童発達支援事業、放課後等デイサービスを利用して回答した人に、希望するサービスについてたずねると、「給食」が28.6%で最も多く、次いで「送迎」が27.8%となっている。(図4-9)

また、「その他」には、「延長保育・時間延長」(5件)、「現状維持・特になし・気に入っている」(5件)、「長期休暇中の預かり」(3件)、「お風呂」(2件)などがあげられている。

(10) 地域子育て支援センター等の利用状況

問21 地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等の利用についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【図4-10 地域子育て支援センター等の利用状況】



地域子育て支援センター等の利用状況についてたずねると、「利用したことがない」が41.1%で最も多く、次いで「以前利用していたが今は利用していない」が36.1%、「現在利用している」が8.9%となっている。(図4-10)

就学前児童と比較すると、療育機関利用の保護者が利用している割合は約3分の1と低くなっている。(表4-10-1)

【表4-10-1 調査種別 地域子育て支援センター等の利用状況】

(上段：件数、下段：%)

【療育機関利用】問21 地域子育て支援センター等の利用状況

調査数	現在利用している	利用したことがない	は以前利用していたが今	今後利用したい	無回答
158	14	65	57	10	12
100.0	8.9	41.1	36.1	6.3	7.6

【就学前児童】問35 子育て支援拠点事業の利用の有無

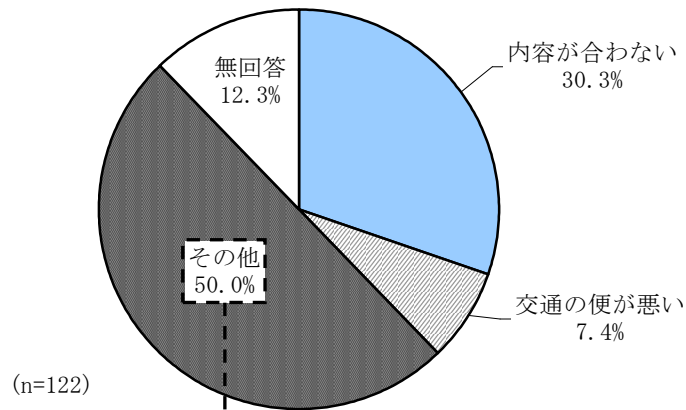
調査数	地域子育て支援拠点事業	利用していない	無回答
1,034	266	729	39
100.0	25.7	70.5	3.8

(11) 地域子育て支援センター等を利用していない理由

問21-1 問21で「2. 3.」を選ばれた方におうかがいします。

利用されない理由はどのようなことですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【図4-11 地域子育て支援センター等を利用していない理由】



その他	件数
内容がわからない・知らない	14
年齢が大きくなったため	10
保育園・幼稚園に就園したため	8
利用したいと思わなかった・必要ないから	7
時間がないから	7
療育へ行き始めたため	4
他に通っているところで十分だから	2
話が合わず居心地が悪いから	2
仕事をしているから	2
子どものこだわりが強いため	1
幼児を連れて行くと迷惑と思ったため	1
延べ件数	58

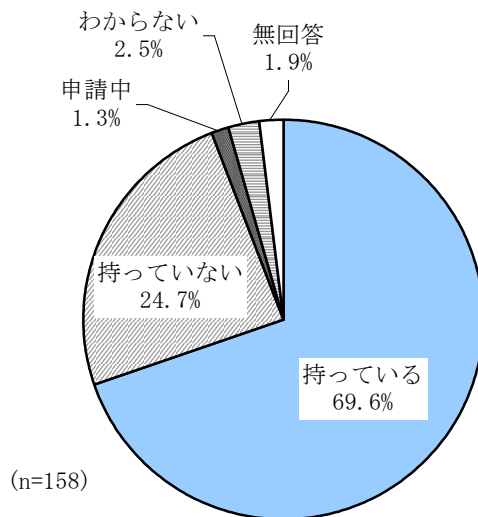
地域子育て支援センター等を利用していないと回答した人に、その理由についてたずねると、「内容が合わない」が30.3%で最も多く、次いで「交通の便が悪い」が7.4%となっている。(図4-11)

また、「その他」の理由には、「内容がわからない・知らない」(14件)、「年齢が大きくなったため」(10件)、「保育園・幼稚園に就園したため」(8件)、「利用したいと思わなかった・必要ないから」(7件)、「時間がないから」(7件)などがあげられている。

## (12) 各種手帳の所持状況

問22 各種手帳を持っておられますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【図4-12 各種手帳の所持状況】



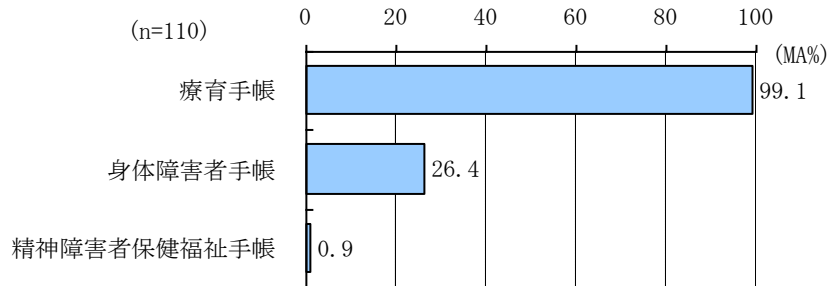
各種手帳の所持状況については、「持っている」が69.6%で最も多く、次いで「持っていない」が24.7%となっている。(図4-12)



(13) 持っている手帳の種類

問22-1 問22で「1.」を選ばれた方におうかがいします。  
手帳の種類をおうかがいします。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

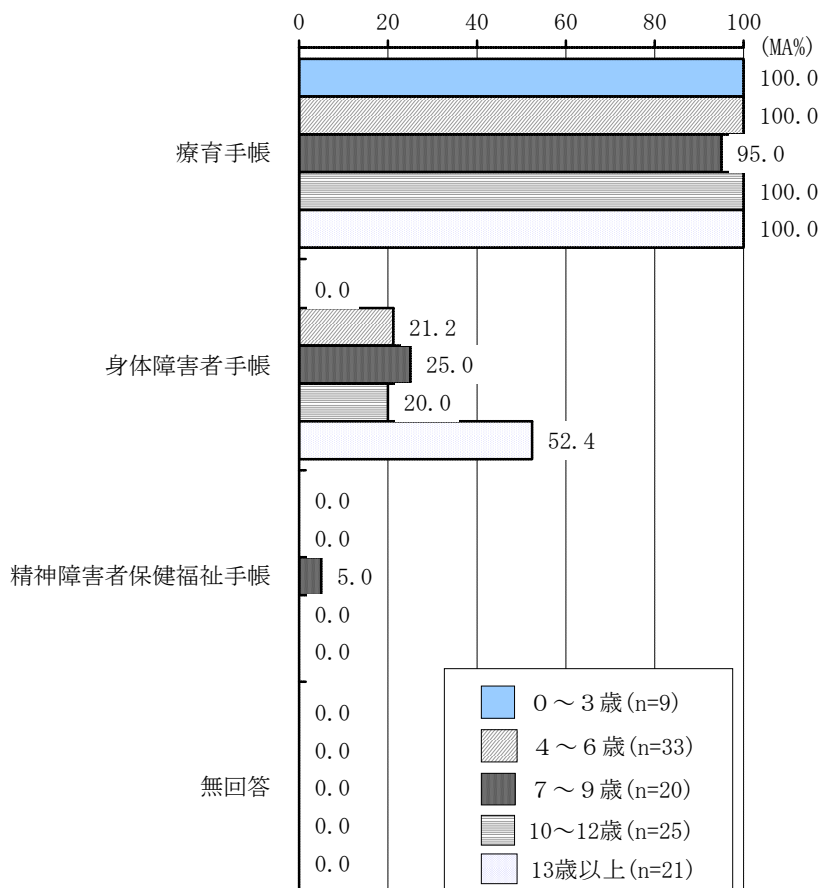
【図4-13 持っている手帳の種類】



各種手帳を持っていると回答した人に、その種類についてたずねると、「療育手帳」が99.1%で最も多く、次いで「身体障害者手帳」が26.4%となっている。(図4-13)

年齢別でみると、いずれの年代も「療育手帳」は、ほぼ全員が持っている。「身体障害者手帳」では、4～6歳と10～12歳は5人に1人、7～9歳は4人に1人、13歳以上は2人に1人が持っている。(図4-13-1)

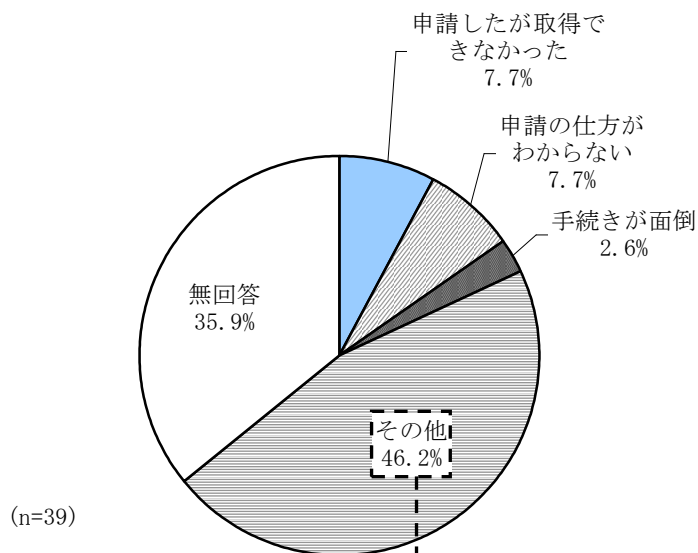
【図4-13-1 年齢別 持っている手帳の種類】



## (14) 手帳を持っていない理由

問22-2 問22で「2.」を選ばれた方におうかがいします。  
手帳を持たれていない理由はどのようなことですか。

【図4-14 手帳を持っていない理由】



その他	件数
必要性を感じないから	7
医師の診断を受けるか迷っているから	2
申請を検討している	2
申請していないから	2
手帳を返却したから	1
取得できないといわれたから	1
診断を受けていないから	1
特に診断がついていないから	1
延べ件数	17

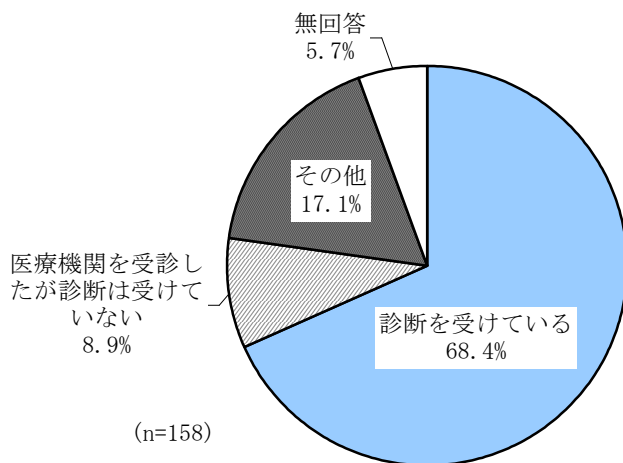
手帳を持っていないと回答した人に、その理由についてたずねると、「申請したが取得できなかった」と「申請の仕方がわからない」がともに7.7%で最も多くなっている。(図4-14)

また、「その他」の理由には、「必要性を感じないから」(7件)、「医師の診断を受けるか迷っているから」(2件)、「申請を検討している」(2件)、「申請していないから」(2件)などがあげられている。

### (15) 医療機関で障害についての診断有無

問23 対象のお子さんは、今までに医療機関で障害についての診断を受けていますか。  
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【図4-15 医療機関で障害についての診断有無】

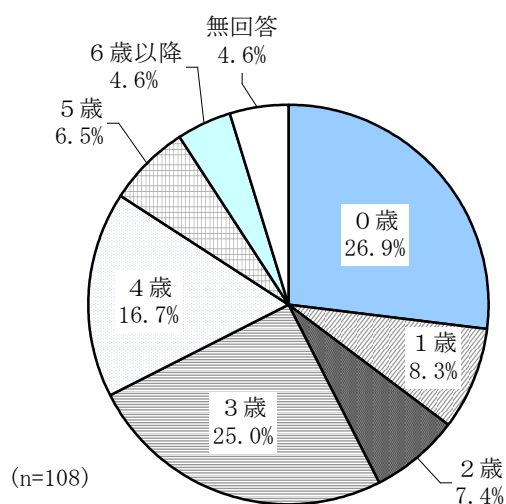


医療機関で障害についての診断有無については、「診断を受けている」が68.4%で最も多く、次いで「医療機関を受診したが診断は受けていない」が8.9%となっている。(図4-15)

### (16) 診断を受けたときの年齢

問23-1 問23で「1.」を選ばれた方におうかがいします。診断を受けたときの年齢と医療機関をお書きください。

【図4-16 診断を受けたときの年齢】

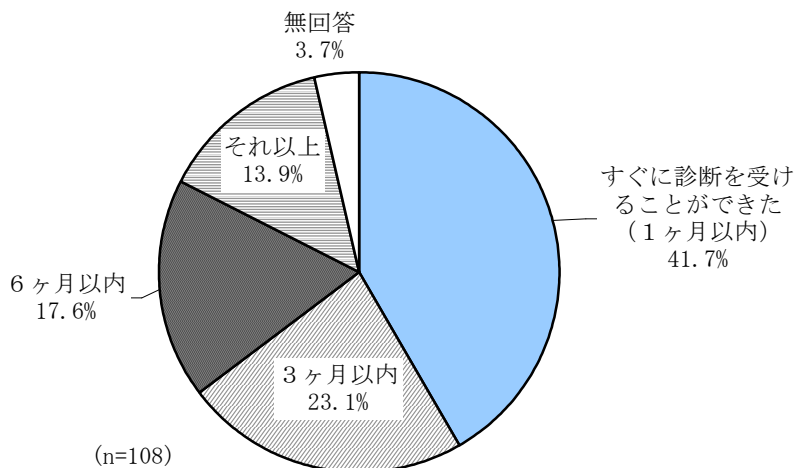


医療機関で障害についての診断を受けていると回答した人に、診断を受けた年齢についてたずねると、「0歳」が26.9%で最も多く、次いで「3歳」が25.0%、「4歳」が16.7%となっている。(図4-16)

(17) 診断を受けた医療機関の受診までにかかった期間

問23-2 問23-1で診断を受けた医療機関の受診までにかかった時間についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

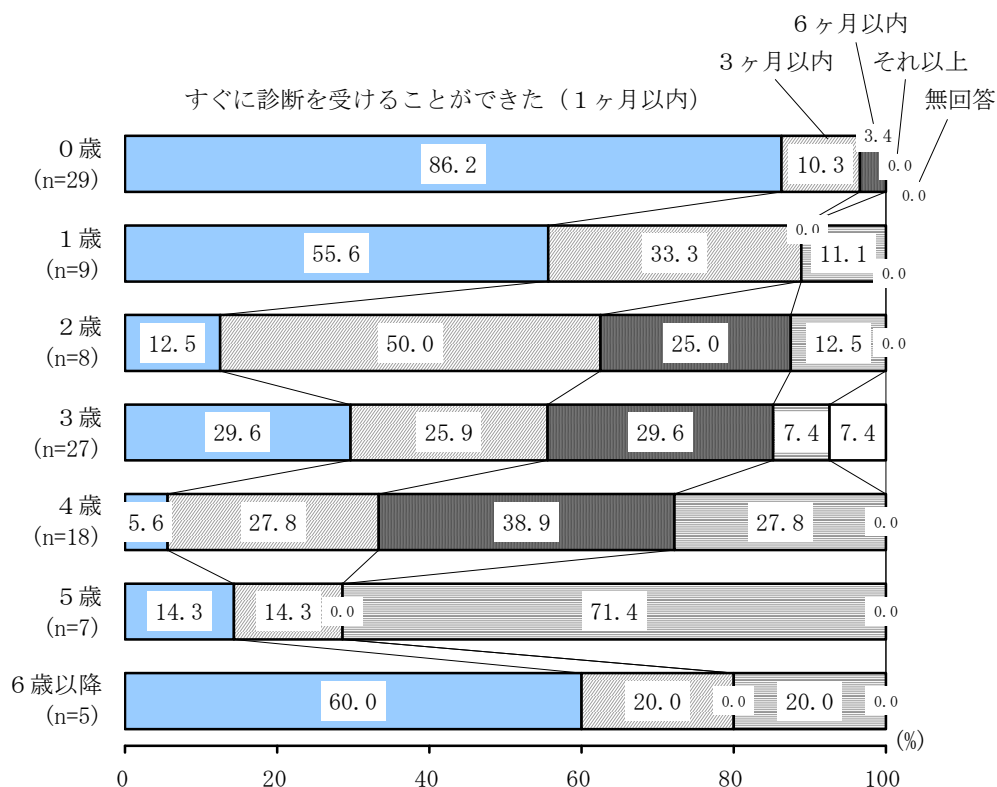
【図4-17 診断を受けた医療機関の受診までにかかった期間】



診断を受けた医療機関の受診までにかかった期間についてたずねると、「すぐに診断を受けることができた (1ヶ月以内)」が41.7%で最も多く、次いで「3ヶ月以内」が23.1%となっている。(図4-17)

診断を受けたときの年齢別でみると、母数が少ないので一概には言えないが、「すぐに診断を受けることができた (1ヶ月以内)」が、0歳(86.2%)、1歳(55.6%)、3歳(29.6%)、6歳以降(60.0%)で最も多くなっており、3歳では「6ヶ月以内」も同率となっている。2歳は「3ヶ月以内」(50.0%)、4歳と5歳は「それ以上」(4歳:27.8%、5歳:71.4%)がそれぞれ最も多くなっている。(図4-17-1)

【図4-17-1 診断を受けたときの年齢別 診断を受けた医療機関の受診までにかかった期間】

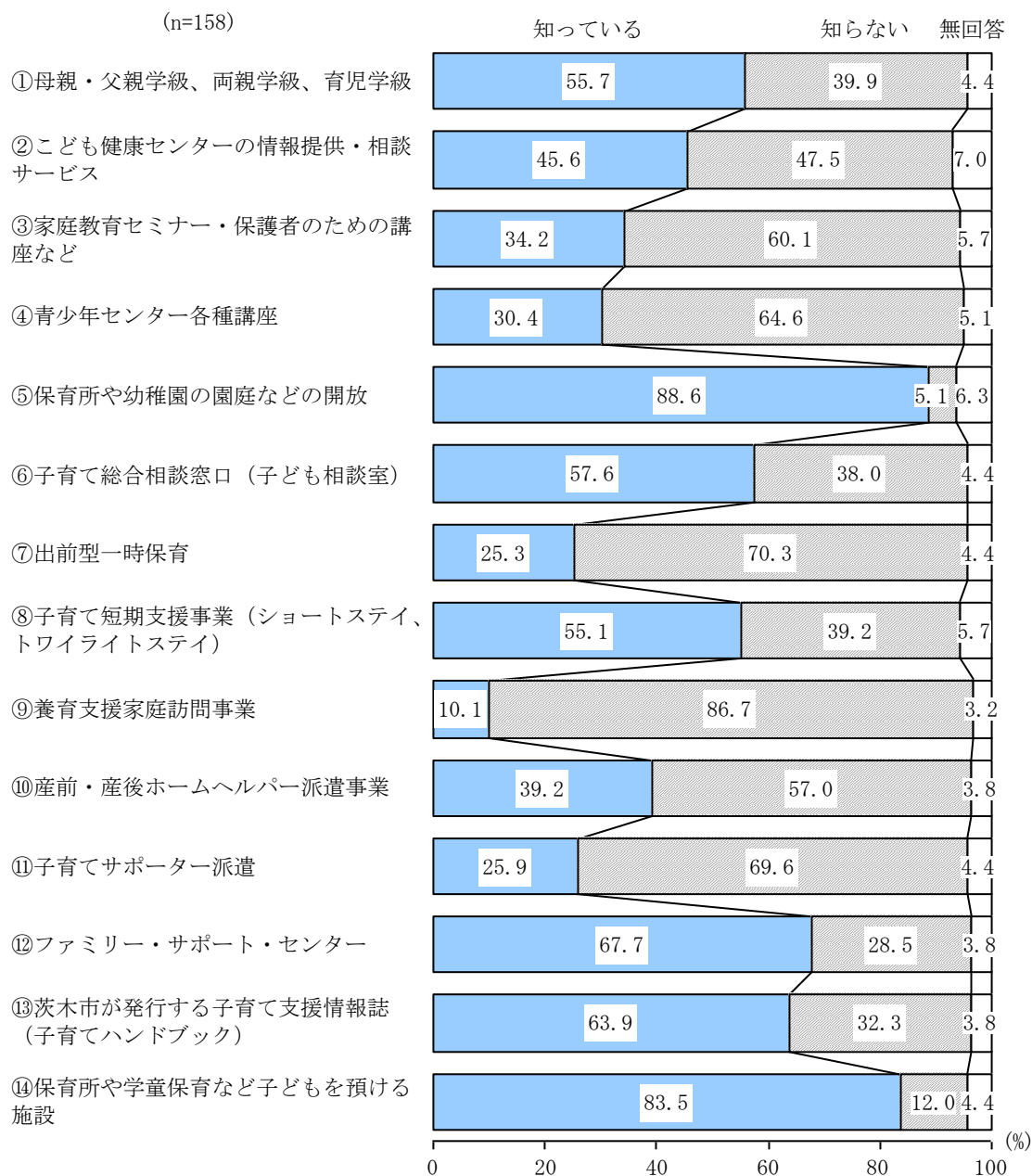


(18) 子育て支援サービスの認知度、利用度、利用意向

① 認知度

問24 子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後利用したいと思うものはありますか。サービス毎に、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

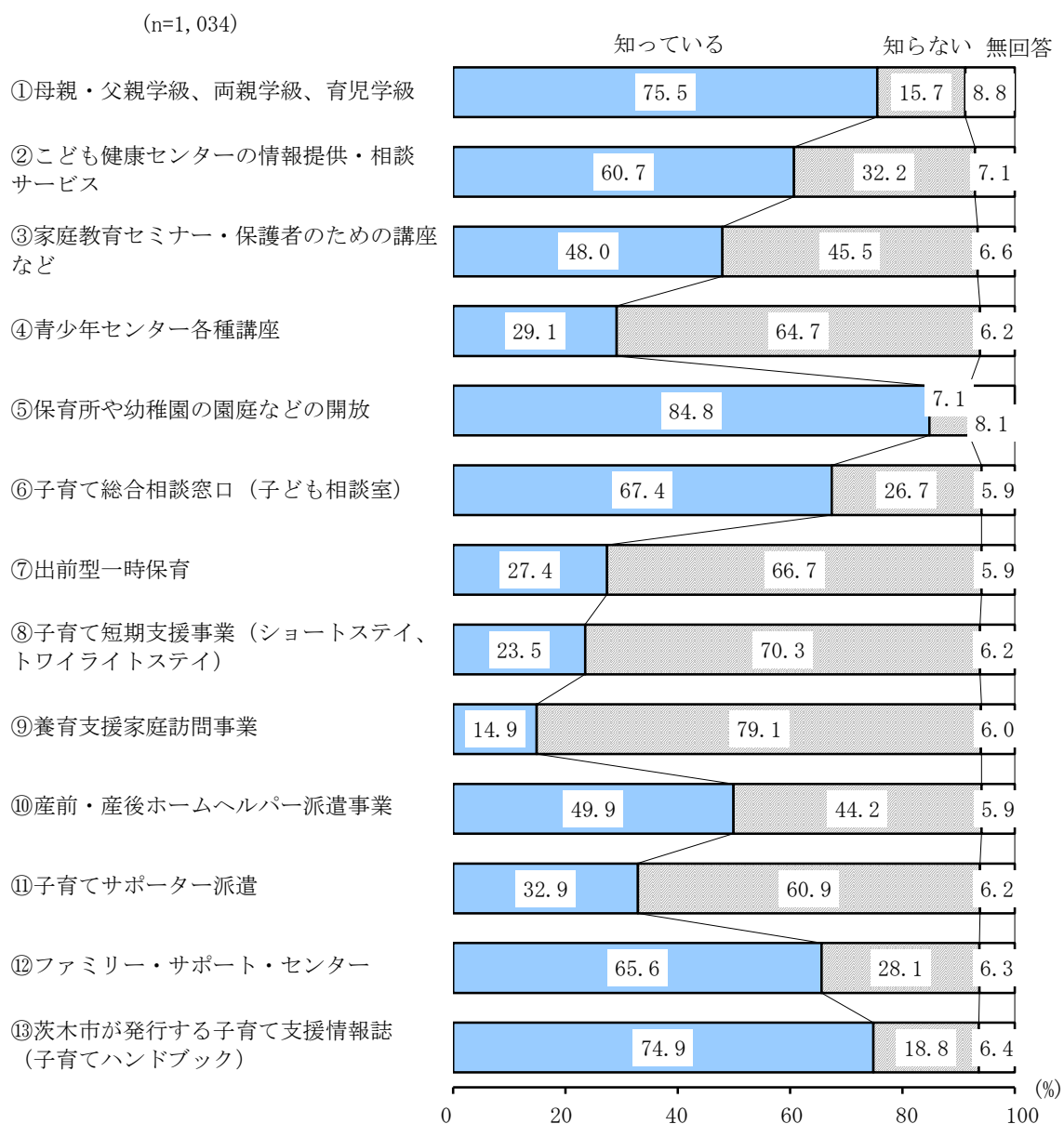
【図4-18-1① 子育て支援サービスの認知度】



子育て支援サービスの認知度についてたずねた。「知っている」は、『⑤保育所や幼稚園の園庭などの開放』が88.6%で最も高く、次いで『⑭保育所や学童保育など子どもを預ける施設』が83.5%、『⑫ファミリー・サポート・センター』が67.7%となっている。（図4-18-1①）

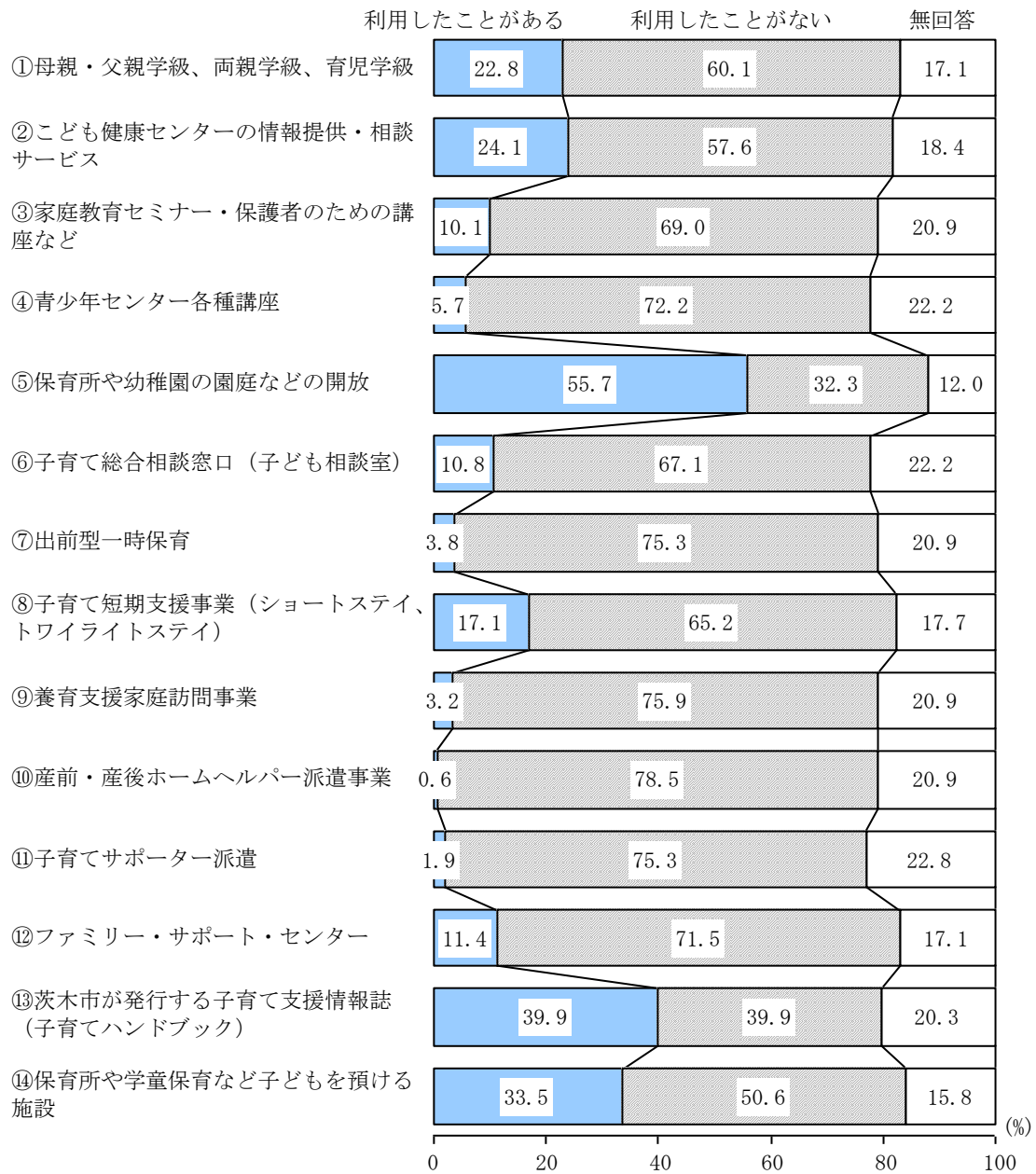
就学前児童と比較すると、療育機関利用の保護者は『①母親・父親学級、両親学級、育児学級』や『②こども健康センターの情報提供・相談サービス』、『③家庭教育セミナー・保護者のための講座など』、『⑥子育て総合相談窓口（子ども相談室）』、『⑩産前・産後ホームヘルパー派遣事業』、『⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）』で、「知っている」が10ポイント前後低くなっている。一方、『⑧子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）』では、「知っている」が2倍以上に高くなっている。（図4-18-1①②）

【図4-18-1② 子育て支援サービスの認知度（就学前児童）】



## ② 利用度

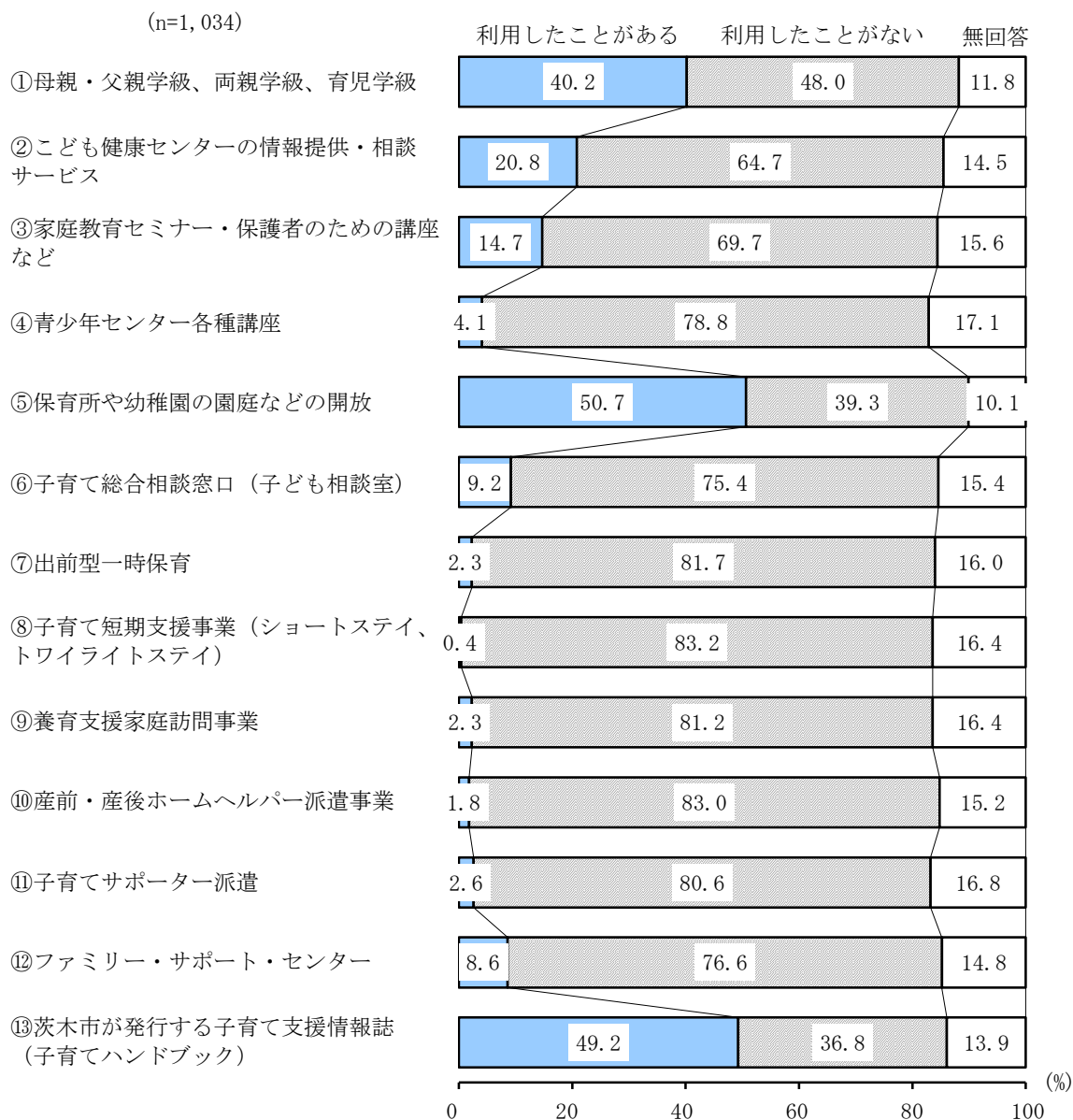
【図4-18-2① 子育て支援サービスの利用度】



利用度については、「利用したことがある」は『⑤保育所や幼稚園の園庭などの開放』が55.7%で最も高く、次いで『⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌(子育てハンドブック)』が39.9%、『⑭保育所や学童保育など子どもを預ける施設』が33.5%となっている。(図4-18-2①)

就学前児童と比較すると、療育機関利用の保護者は『①母親・父親学級、両親学級、育児学級』と『⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）』で、「利用したことがある」が10ポイント前後低くなっている。一方、『⑧子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）』では「利用したことがある」が16.7ポイント高くなっている。（図4-18-2①②）

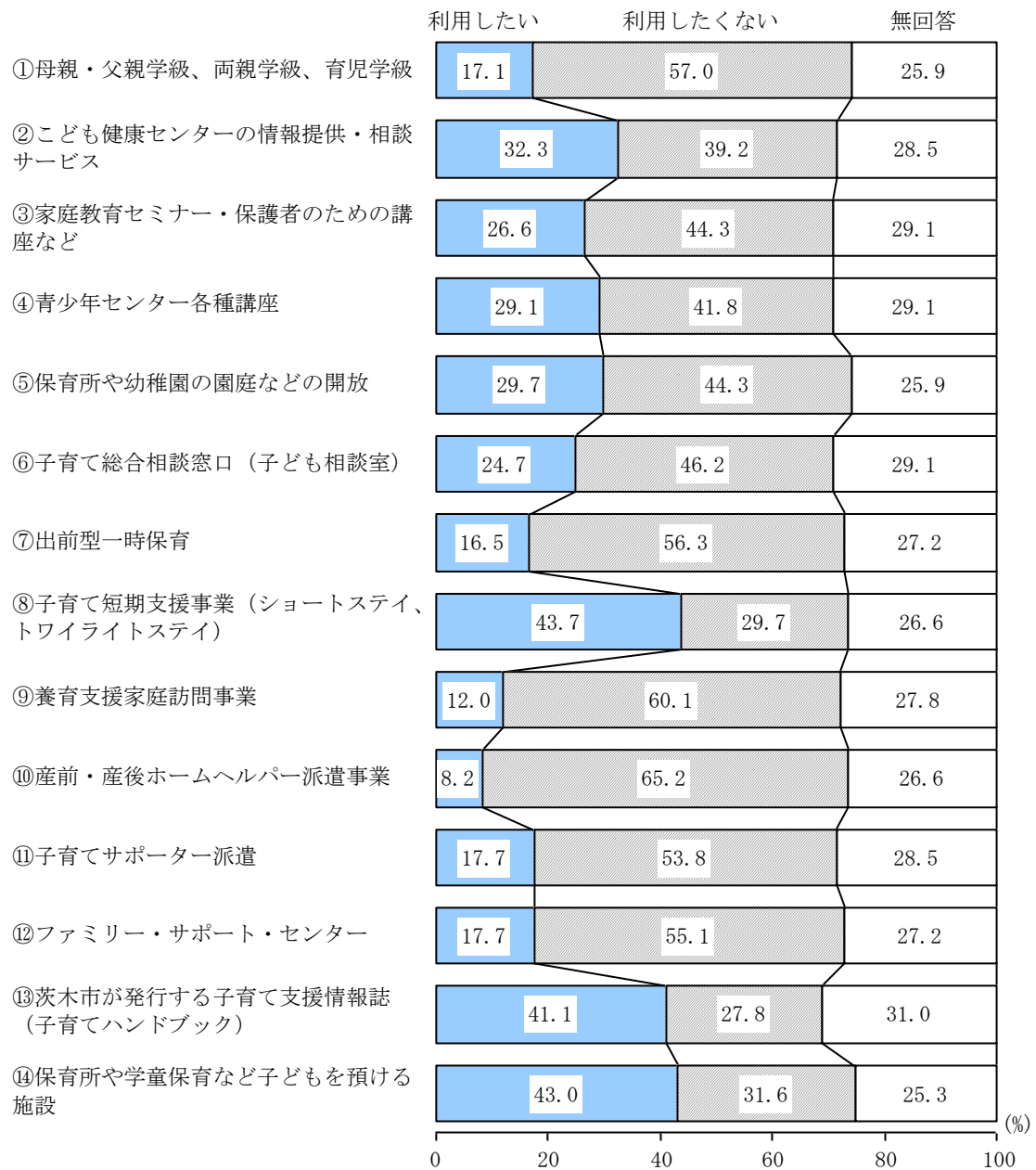
【図4-18-2② 子育て支援サービスの利用度（就学前児童）】





### ③ 利用意向

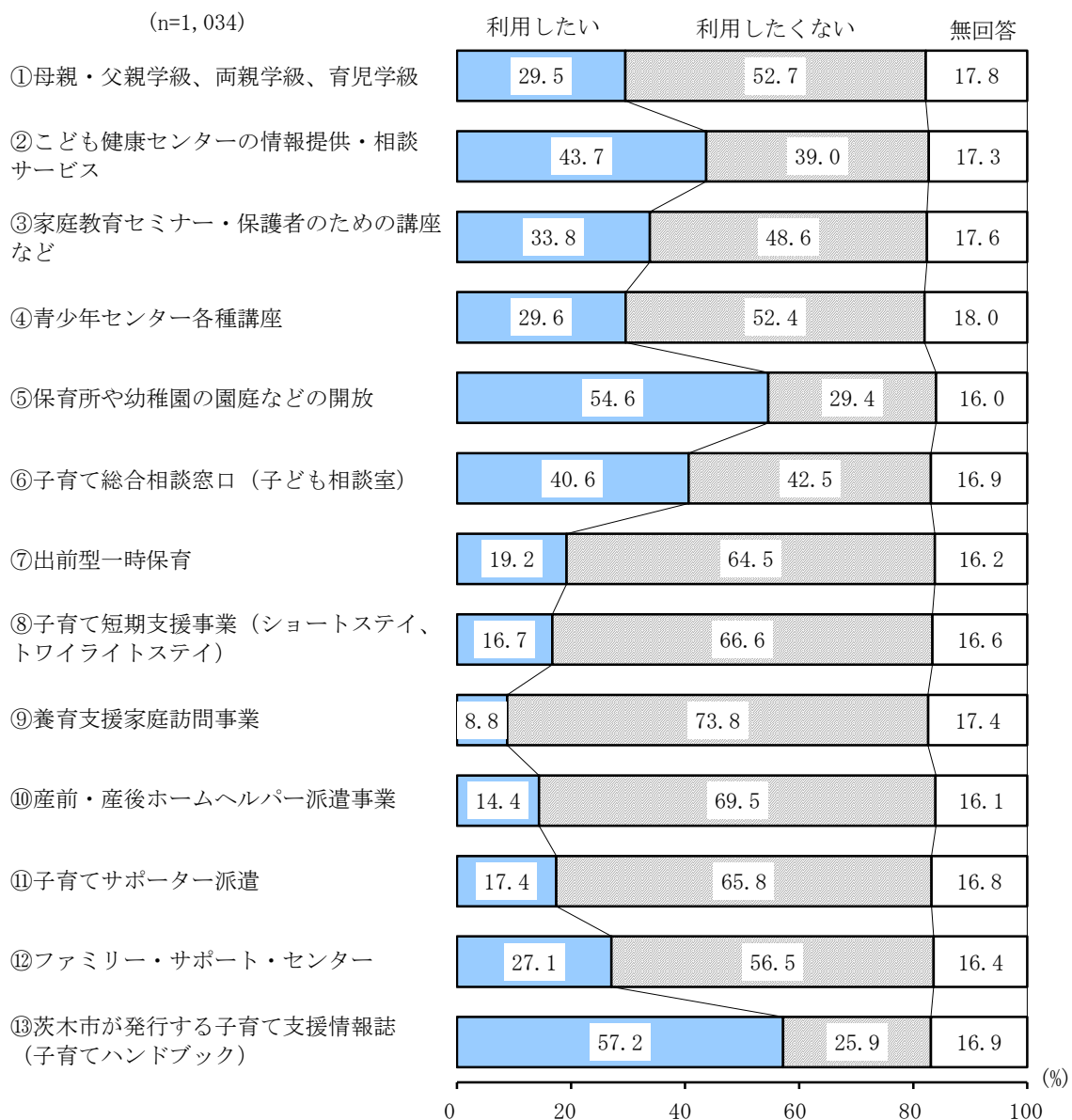
【図4-18-3① 子育て支援サービスの利用意向】



利用意向については、「利用したい」は、『⑧子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）』が43.7%で最も高く、次いで『⑭保育所や学童保育など子どもを預ける施設』が43.0%、『⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）』が41.1%となっている。（図4-18-3①）

就学前児童と比較すると、療育機関利用の保護者は『①母親・父親学級、両親学級、育児学級』や『②こども健康センターの情報提供・相談サービス』、『⑤保育所や幼稚園の園庭などの開放』、『⑥子育て総合相談窓口（子ども相談室）』、『⑫ファミリー・サポート・センター』、『⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）』で、「利用したい」が10ポイント前後低くなっている。一方、『⑧子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）』では「利用したい」が27ポイント高くなっている。（図4-18-3①②）

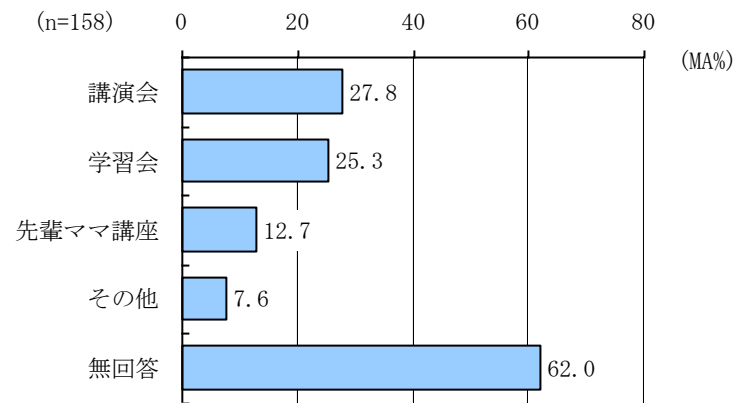
【図4-18-3② 子育て支援サービスの利用意向（就学前児童）】



(19) 参加したことのある学習会や研修会

問25 今までにどのような学習会や研修会等に参加されたことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけて、具体的な内容を記入してください。

【図4-19 参加したことのある学習会や研修会】

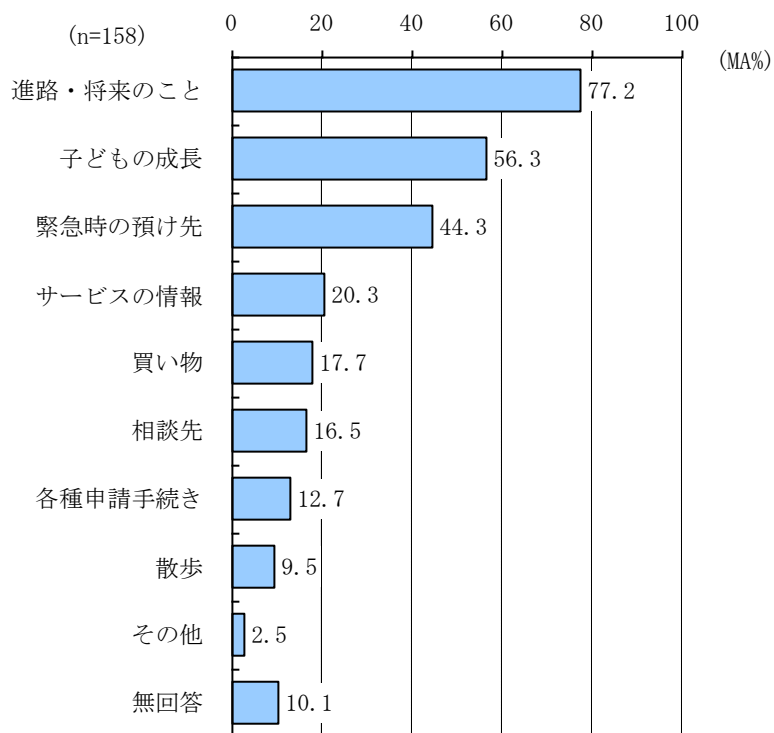


参加したことのある学習会や研修会については、「講演会」が27.8%で最も多く、次いで「学習会」が25.3%となっている。(図4-19)

## (20) 悩んでいること

問26 お悩みのことについておうかがいします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【図4-20 悩んでいること】



悩んでいることについては、「進路・将来のこと」が77.2%で最も多く、次いで「子どもの成長」が56.3%、「緊急時の預け先」が44.3%となっている。(図4-20)

## (21) あればいいと思うサービス

問27 あればいいなと思うサービスに関してご意見がありましたら、ご自由に記入ください。

あればいいと思うサービスについて、自由に記述してもらった結果、障害のある子どもでも通える水泳教室や体操教室などの稽古ごとや各種相談、18歳以降成人期においても余暇の充実を図れる支援、障害児とその家族同士が交流できる機会、通学時のヘルパー利用など、延べ138件（複数回答あり）の意見が挙げられた。

## (22) 自由意見

問28 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

自由意見については、支援学級の先生・介助員の増員や質の向上、支援を受けられるまでの時間の短縮、障害についての理解を深めるための情報発信など、延べ97件（複数回答あり）の意見が挙げられた。

- ・ 保育、療育の内容への要望（19件）
- ・ 先生・介助員の増員・質の向上（13件）
- ・ 市への要望（11件）
- ・ 居場所づくり（9件）
- ・ 情報提供の充実（8件）
- ・ 支援を受けるまでの手続き等について（6件）
- ・ 支援学校卒業後の支援への要望（3件）
- ・ 設備の充実（3件）
- ・ 入園（所）について（3件）
- ・ 病児保育の充実（3件）
- ・ 制度の充実（3件）
- ・ 公立保育所の増設（2件）
- ・ 学童保育への要望（2件）
- ・ 事業の評価（2件）
- ・ 移動支援への要望（2件）
- ・ 医療の充実（2件）
- ・ 施設の増設（2件）
- ・ その他（4件）

# 茨木市 次世代育成支援に関するニーズ調査

(通所支援サービスを利用されている保護者のみなさん)

## 【ご協力をお願い】

茨木市では、次代の社会を担う子どもを育成し、その家族を支援するなどを目的とした「茨木市次世代育成支援行動計画」を策定し、さまざまな施策を実施しています。

また、「子ども・子育て支援法」に基づく、子ども・子育て支援に関する新たな制度が、平成27年度から始まる予定であり、市町村は、この制度の実施にあたり、「子ども・子育て支援事業計画」を作成する必要があります。

本市では、現行の「茨木市次世代育成支援行動計画」が平成26年度末で終了することから、子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を含めた、次世代育成支援施策の新たな計画として「茨木市次世代育成支援行動計画（第3期）」を策定することとしています。

本調査は、この新たな計画策定にあたって、みなさん（お子さん）の福祉サービス（子育て支援サービスを含む）の利用状況と今後の利用希望を把握するためのものです。ご回答いただいた内容は、行動計画の策定のみにご利用させていただくもので、他の目的に利用することは一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成26年5月 茨木市

【お問い合わせ先】茨木市 こども育成部 こども政策課  
電話：072-620-1625（直通）



6月6日（金）までに  
ご回答をお待ちしています。

この調査票をお渡しした事業  
所または、こども政策課までお  
届けください。

**皆さんのお声を茨木市の子ども・子育てサービスの充実に！**

## 【調査内容について】

この調査の調査内容は次のとおりです。

### 1. 家庭の基本情報について（問1～問11）

家族構成や保護者の働いておられる状況など、家庭の基本情報についてお聞きします。ご家庭の状況により必要なサービスは異なってきますので、サービス提供のための前提となる調査です。

### 2. 福祉サービス（子育て支援サービス）の利用状況や子育て支援に関する意識などについて（問12～問27）

子育て支援サービスを展開していくにあたって前提となる保護者のみなさんの意識などについて把握します。

幼稚園や保育所など定期的に利用したい施設やサービス、また、学童保育や一時的な預かりなど子育てを支援するサービスについて、どれくらいの利用希望があるのかなどをお聞きします。また、市役所などへの要望についてもあわせてお聞きします。

ご回答いただいた内容は、子育て支援サービスの充実などに反映されます。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。







問7 日頃、対象のお子さんのことで手助けしてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきに手助けしてもらえる
2. 緊急時もしくは用事のあるときにはご自身や配偶者の親、親せきに手助けしてもらえる
3. 日常的に子どもの手助けをしてもらえる友人や知人がいる
4. 緊急のときや用事があるときに子どもの手助けをしてもらえる友人や知人がいる
5. いずれもない

問8 対象のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問8-1へ
2. いない／ない ⇒ 問9へ

問8-1 問8で「1. いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。

気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者
2. ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 子どもの健診などを行ってくれることも健康センター
6. 市役所の教育相談の窓口(教育センターを含む)
7. 市役所の発達相談の窓口(すくすく教室発達相談室を含む)
8. 子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体
9. 保育所の先生
10. 幼稚園の先生
11. 小学校の先生
12. 学童保育の指導員
13. 児童発達支援事業所の先生
14. 医療型児童発達支援事業所の先生
15. 放課後等サービスの先生
16. 相談支援事業所
17. かかりつけの医師
18. 携帯電話やインターネットの交流サイト
19. キンダーカウンセラー(子育て相談を行うため私立幼稚園に配置された臨床心理士等)
20. スマイルサポーター(私立保育所における知事認定を受けた地域貢献支援員)
21. 学校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
22. ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾などの習い事の先生
23. 民生委員・児童委員、主任児童委員
24. その他( )

※「学童保育」…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。小学校内にある学童保育及び市が補助する民間の学童保育をいいます。

問9 対象のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。

自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。【父子家庭の場合は記入不要です。⇒ 問10へ】

1. フルタイムで働いている
2. パート・アルバイトなどで働いている
3. フルタイムで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（産休・育休・介護休業中）
5. 以前は働いていたが、今は働いていない
6. これまで働いたことがない

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労

「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問10 対象のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。

自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【母子家庭の場合は記入不要です。⇒ 問11へ】

1. フルタイムで働いている
2. パート・アルバイトなどで働いている
3. フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
5. 以前は働いていたが、今は働いていない
6. これまで働いたことがない

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労

「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問11 問9または問10で「5.」または「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方におうかがいします。

あてはまる番号に1つだけ○をつけ、（ ）内に具体的な数字を入れてください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
4. 福祉サービス等が充実したら働きたいと考えている

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
4. 福祉サービス等が充実したら働きたいと考えている



## 子育て支援サービス等の利用状況についておうかがいします。

問12 下記のサービスで現在利用しているものや、今後、利用したいと思うものはありますか。あてはまるサービスごとに(1)・(2)に○をつけてください。

	(1) 現在利用している	(2) 今後利用したい
① 幼稚園		
② 保育所(園)		
③ 認定こども園		
④ 小学校(通常学級・支援学級)		
⑤ 支援学校		
⑥ 学童保育		
⑦ 児童発達支援事業		
⑧ 医療型児童発達支援事業		
⑨ 放課後等ディサービス		
⑩ 相談支援事業		
⑪ 併用利用(例 幼稚園と児童発達支援事業所) ( _____ と _____ )		
⑫ その他 ( _____ )		

問13 問12「(1) 現在利用している」に○をつけられた通所支援サービス(⑦、⑧、⑨)は、どの機関より紹介されて利用することになりましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 乳幼児健診からの紹介	
2. 医療機関からの紹介	
3. 保育所・幼稚園等からの紹介	
4. 相談機関からの紹介(具体的な相談機関名)	)
5. その他(	)



問14 現在の利用中の通所支援サービスを利用したいと思ってから利用開始までの期間について  
おうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. すぐに利用できた | 2. 1ヶ月以内 |
| 3. 3ヶ月以内    | 4. 6ヶ月以上 |

問15 現在の利用中の通所支援サービスの利用日、利用時間についておうかがいします。あてはまる  
番号に1つだけ○をつけてください。(複数の事業所を利用の場合は、そのすべてをあわせてご記入  
ください。)

- |   |
|---|
| 1. 毎日 ( ) 時から ( ) 時まで ( ) 時間  |
| 2. 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 土 ・ 日 (あてはまる曜日 <u>すべてに</u> ○)<br>( ) 時から ( ) 時まで |
| 3. 不定期 月に ( ) 日 ・ 年に ( ) 日  |

問16 現在までの通所支援サービスの利用期間についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ  
○をつけてください。

- |         |          |              |
|---------|----------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年～2年 | 3. その他 ( ) 年 |
|---------|----------|--------------|

問17 問12で「⑦、⑧」を受けていると選ばれた方におうかがいします。

どのような療育をうけていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- |        |       |
|--------|-------|
| 1. 小集団 | 2. 個別 |
|--------|-------|

問18 問12で「(1) 現在利用している」に○をつけられたサービス (⑦、⑧、⑨、⑩) を利用して、  
どのように思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて理由もお書きください。

- |              |   |
|--------------|---|
| 1. よかった(理由   | ) |
| 2. よくなかった(理由 | ) |
| 3. その他(      | ) |

問19 問12で「(1) 現在利用している」に○をつけられた通所支援サービス (⑦、⑧、⑨) の今後  
の利用についておうかがいします。

あてはまる番号に1つだけ○をつけて理由もお書きください。

- |                  |   |
|------------------|---|
| 1. 続けて利用したい(理由   | ) |
| 2. 他の施設を利用したい(理由 | ) |
| 3. 利用予定はない(理由    | ) |
| 4. その他(          | ) |

問20 問12で「(1) 現在利用している」に○をつけられた通所支援サービス(⑦、⑧、⑨)にあったらよいと思われるサービスについておうかがいします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 送迎	2. 駐車場	3. 給食
4. その他( )		

問21 地域子育て支援センター・つどいの広場・子育てサークル等の利用についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 現在利用している	2. 利用したことがない
3. 以前利用していたが今は利用していない	4. 今後利用したい

問21-1 問21で「2. 3.」を選ばれた方におうかがいします。利用されない理由はどのようなことですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 内容が合わない	2. 交通の便が悪い
3. その他( )	

問22 各種手帳を持っておられますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 持っている	2. 持っていない	3. 申請中	4. わからない
----------	-----------	--------	----------

問22-1 問22で「1.」を選ばれた方におうかがいします。手帳の種類をおうかがいします。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

1. 身体障害者手帳	2. 療育手帳	3. 精神障害者保健福祉手帳
------------	---------	----------------

問22-2 問22で「2.」を選ばれた方におうかがいします。手帳を持たれていない理由はどのようなことですか。

1. 申請したが取得できなかった	2. 申請の仕方がわからない	3. 手続きが面倒
4. その他( )		

問23 対象のお子さんは、今までに医療機関で障害についての診断を受けていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 診断を受けている	2. 医療機関を受診したが診断は受けていない
3. その他( )	

問23-1 問23で「1.」を選ばれた方におうかがいします。診断を受けたときの年齢と医療機関をお書きください。

( )歳のとき	医療機関名( )
---------	----------

問23-2 問23-1で診断を受けた医療機関の受診までにかかった時間についておうかがいします。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. すぐに診断を受けることができた(1ヶ月以内)	2. 3ヶ月以内
3. 6ヶ月以内	4. それ以上( )年くらい

問24 子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後利用したいと思うものはありますか。サービス毎に、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	(1) 知っている	(2) 利用したことがある	(3) 今後利用したい
① 母親・父親学級、両親学級、育児学級	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
② こども健康センターの情報提供・相談サービス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③ 家庭教育セミナー・保護者のための講座など	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④ 青少年センター各種講座	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤ 保育所や幼稚園の園庭などの開放	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥ 子育ての総合相談窓口（こども相談室）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦ 出前型一時保育	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧ 子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨ 養育支援家庭訪問事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩ 産前・産後ホームヘルパー派遣事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪ 子育てサポーター派遣	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫ ファミリー・サポート・センター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑬ 茨木市が発行する子育て支援情報誌（子育てハンドブック）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑭ 保育所や学童保育など子どもを預ける施設	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

※「養育支援家庭訪問事業」…さまざまな原因で子育ての支援が必要な家庭に子育て経験者による家事や子育ての援助、保健師による訪問指導などを実施する。

問25 今までにどのような学習会や研修会等に参加されたことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけて、具体的な内容を記入してください。

1. 学習会（具体的に	）
2. 講演会（具体的に	）
3. 先輩ママ講座（具体的に	）
4. その他（具体的に	）

問26 お悩みのことについておうかがいします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 買い物	2. 散歩	3. 緊急時の預け先
4. サービスの情報	5. 各種申請手続き	6. 進路・将来のこと
7. 子どもの成長	8. 相談先	9. その他( )

問27 あればいいなと思うサービスに関してご意見がありましたら、ご自由に記入ください。


問28 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。


調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
※封筒に入れ、6月6日(金)までにお渡しした事業所、  
または、こども政策課にお届けください。